

令和6年度（2024年度）

# 事業報告書

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会

## 目次

### 地域福祉活動推進事業拠点区分

#### 地域福祉事業

地域ネットワーク事業	1
日野市生活支援体制整備事業	1
介護予防・フレイル予防推進業務	4
地域介護予防活動支援事業	6
障害者および高齢者団体等のバス借上補助	7
みんなとっしょの運動会（障害者運動会）	8
日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務	8
日野市子どもの学習・生活支援事業（ほっとも南平）	9
視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務	11

#### 在宅福祉事業

在宅高齢者ケアサービス事業	12
移送サービス（日野ハンディキャブ）事業	14
高齢者食事宅配サービス事業	15
産後家庭向け配食サービス事業	17
車椅子貸出事業	18
コミュニケーション支援事業	19
ウクライナ避難者支援	20

#### ボランティア活動推進事業

日野市ボランティア・センター	21
防災・減災をテーマにした地域づくり	27
日野市介護サポーター制度	29
日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know!」	30

#### 助成事業

歳末たすけあい地域福祉活動助成	31
地域支え合い福祉活動助成	31

#### 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業	32
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	34
緊急小口資金等特例貸付の借受人のフォローアップ支援事業	35

## 福祉サービス利用援助事業

地域福祉権利擁護事業	36
財産保全・管理サービス	38
応急日常金銭管理サービス	38
成年後見制度利用促進事業	39

## 福祉人材育成事業

手話講習会事業	41
福祉教育ハートフルプロジェクト	43
移動支援従事者養成研修	44
福祉のしごと相談・面接会および見学会	45
福祉人材育成研修事業	46
社会福祉士養成のための実習生の受入	47

## 法人運営事業

組織運営事業	48
--------	----

## 公益事業拠点区分

### 福祉センター管理事業

日野市立中央福祉センターの管理運営	56
-------------------	----

### 日常生活支援事業

訪問型サービスA生活援助型事業	56
訪問型サービスB生活援助型事業	57

## 収益事業拠点区分

自動販売機設置等管理事業	58
日野市役所内売店の運営	59

## 共同募金運動

### 赤い羽根共同募金運動

東京都共同募金会 日野地区協力会（募金業務）	60
東京都共同募金会 日野地区配分推せん委員会（配分業務）	61

### 歳末たすけあい運動

歳末たすけあい運動の実施	62
日野市社会福祉協議会組織図	63

## 地域福祉活動推進事業拠点区分

### 地域福祉事業

事業名	<b>地域福祉ネットワーク事業</b>
事業形態	自主事業
財源内訳	会費
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	住民や様々な団体と連携・協働して多様なネットワークの構築を図り、課題発見の仕組みづくりや住民による主体的な地域福祉・交流活動を支援し、地域共生社会を目指す。 既に存在する同様の組織や活動との整合性を図り、住民が無理や無駄がなく活動していける基盤整備を市と協力して進める。
内容	<b>1. 多様な機関・団体と連携した地域づくり</b>
実績報告	<p>1) 第1・2層生活支援コーディネーターの連携による地域づくり          [主な連携先] 地域包括支援センター          [主な活動] 第1層協議体・包括圏域会議          第2層生活支援コーディネーター連絡会 ほか</p> <p>2) フレイル予防による多機関が協働した地域づくり          [主な連携先] ひのりハビリテーションネットワーク・南多摩地域栄養士協議会日野地域・音楽療法士・薬剤師・看護師          [主な活動] 南平の保健室・食と体の体験型スタンプラリー          イオンで体操！イオンで歌おう！ほか</p> <p>3) 社会福祉法人・施設等との連携による地域づくり          [主な連携先] 日野市内社会福祉法人          [主な活動] 地域共生社会を考えるシンポジウム          明星大学「地域ニーズ開発（障害者ニーズ）」出張講義ほか</p> <p>4) 地域住民主体との連携による地域づくり          [主な連携先] 南平地区社会福祉協議会・ふれあいサロン          [主な活動] 買い物お助けサービス・子ども食堂「ぷらっと食堂」ほか</p> <p>5) 日野市が実施する委員会・会議体との連携による地域づくり          [主な連携先] 日野市の各種委員会</p>
事業効果・評価方向性等	・住民や行政機関をはじめ、リハビリ専門職等の多様な団体と課題解消に向けた協議の場に参加し、具体的な取組を開始することができた。

事業名	<b>日野市生活支援体制整備事業</b>
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画	ともにみまもる

における視点																																																																																																																					
目的	介護保険サービスにとられず、住民同士が主体的に支え合う仕組みづくりを検討し、高齢であっても住み慣れた地域で生活できる体制を構築する。日野市全体の生活支援のコーディネート機能を果たす第1層生活支援コーディネーター（日野市社会福祉協議会）と第2層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター）、高齢福祉課等が連携し推進する。																																																																																																																				
内容	<p><b>1. 協議体および生活支援コーディネーター（SC）</b></p> <p>1) 第1層 SC による第1層協議体の運営</p> <p>①第1層協議体の開催（2回）（9/5, 3/18）        &lt;主な協議内容&gt;高齢者の通いの場づくり        地域主体の移動支援活動の現状と今後について        任期満了に伴う第1層協議体委員の改選について</p> <p>②第1層協議体 委員構成（順不同敬称略）        任期：令和4年9月1日～令和7年3月31日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>氏名</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>土屋 和子</td><td>ひの市民活動ネットワーク</td></tr> <tr><td>2</td><td>岡 信行</td><td>日野市シルバー人材センター</td></tr> <tr><td>3</td><td>藤岡 美也子</td><td>ひのケアマネ協議会</td></tr> <tr><td>4</td><td>本間 義崇</td><td>ひのリハビリテーションネットワーク</td></tr> <tr><td>5</td><td>正木 直子</td><td>南多摩地域栄養士協議会日野地域</td></tr> <tr><td>6</td><td>佐藤 春俊</td><td>日野市介護保険関連施設連絡協議会</td></tr> <tr><td>7</td><td>市岡 斉</td><td>日野市在宅介護事業者協議会</td></tr> <tr><td>8</td><td>渡辺 妙子</td><td>訪問型サービスB実施団体（市民委員）</td></tr> <tr><td>9</td><td>今井 真美</td><td>日野市民生委員・児童委員協議会</td></tr> <tr><td>10</td><td>川田 利子</td><td>日野市地域包括支援センター</td></tr> <tr><td>11</td><td>平 敦子</td><td>日野市高齢福祉課</td></tr> <tr><td>12</td><td>大久保 江理</td><td>第1層生活支援コーディネーター</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 第2層生活支援コーディネーターとの情報交換・共有の場        各包括圏域（ひの・たかはた・とよだ・ひらやま）会議に参加        第2層生活支援コーディネーター連絡会（2回）（10/25, 3/11）        &lt;主な協議内容&gt;圏域ごとの課題や社会資源の共有        圏域ごとの交通機関の確認や移動支援の検討        &lt;参加者&gt;第1・2層生活支援コーディネーター・高齢福祉課</p> <p>3) 第2層生活支援コーディネーターの活動状況（件数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>包括名</th> <th>立上げ</th> <th>継続</th> <th>連絡調整</th> <th>関係形成</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>せせらぎ</td><td>6</td><td>27</td><td>14</td><td>1</td><td>4</td><td>52</td></tr> <tr><td>多摩川苑</td><td>21</td><td>8</td><td>9</td><td>3</td><td>2</td><td>43</td></tr> <tr><td>すてっぴ</td><td>0</td><td>4</td><td>9</td><td>2</td><td>0</td><td>15</td></tr> <tr><td>あいりん</td><td>1</td><td>5</td><td>10</td><td>0</td><td>0</td><td>16</td></tr> <tr><td>いきいきタウン</td><td>2</td><td>24</td><td>9</td><td>3</td><td>2</td><td>40</td></tr> <tr><td>すずらん</td><td>4</td><td>35</td><td>11</td><td>2</td><td>2</td><td>54</td></tr> <tr><td>かわきた</td><td>2</td><td>9</td><td>8</td><td>0</td><td>1</td><td>20</td></tr> <tr><td>もぐさ</td><td>3</td><td>9</td><td>10</td><td>2</td><td>3</td><td>27</td></tr> <tr><td>あさかわ</td><td>7</td><td>9</td><td>5</td><td>0</td><td>2</td><td>23</td></tr> <tr> <td>合計</td> <td>46</td> <td>130</td> <td>85</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>290</td> </tr> </tbody> </table>	No	氏名	所属	1	土屋 和子	ひの市民活動ネットワーク	2	岡 信行	日野市シルバー人材センター	3	藤岡 美也子	ひのケアマネ協議会	4	本間 義崇	ひのリハビリテーションネットワーク	5	正木 直子	南多摩地域栄養士協議会日野地域	6	佐藤 春俊	日野市介護保険関連施設連絡協議会	7	市岡 斉	日野市在宅介護事業者協議会	8	渡辺 妙子	訪問型サービスB実施団体（市民委員）	9	今井 真美	日野市民生委員・児童委員協議会	10	川田 利子	日野市地域包括支援センター	11	平 敦子	日野市高齢福祉課	12	大久保 江理	第1層生活支援コーディネーター	包括名	立上げ	継続	連絡調整	関係形成	その他	合計	せせらぎ	6	27	14	1	4	52	多摩川苑	21	8	9	3	2	43	すてっぴ	0	4	9	2	0	15	あいりん	1	5	10	0	0	16	いきいきタウン	2	24	9	3	2	40	すずらん	4	35	11	2	2	54	かわきた	2	9	8	0	1	20	もぐさ	3	9	10	2	3	27	あさかわ	7	9	5	0	2	23	合計	46	130	85	13	16	290
No	氏名	所属																																																																																																																			
1	土屋 和子	ひの市民活動ネットワーク																																																																																																																			
2	岡 信行	日野市シルバー人材センター																																																																																																																			
3	藤岡 美也子	ひのケアマネ協議会																																																																																																																			
4	本間 義崇	ひのリハビリテーションネットワーク																																																																																																																			
5	正木 直子	南多摩地域栄養士協議会日野地域																																																																																																																			
6	佐藤 春俊	日野市介護保険関連施設連絡協議会																																																																																																																			
7	市岡 斉	日野市在宅介護事業者協議会																																																																																																																			
8	渡辺 妙子	訪問型サービスB実施団体（市民委員）																																																																																																																			
9	今井 真美	日野市民生委員・児童委員協議会																																																																																																																			
10	川田 利子	日野市地域包括支援センター																																																																																																																			
11	平 敦子	日野市高齢福祉課																																																																																																																			
12	大久保 江理	第1層生活支援コーディネーター																																																																																																																			
包括名	立上げ	継続	連絡調整	関係形成	その他	合計																																																																																																															
せせらぎ	6	27	14	1	4	52																																																																																																															
多摩川苑	21	8	9	3	2	43																																																																																																															
すてっぴ	0	4	9	2	0	15																																																																																																															
あいりん	1	5	10	0	0	16																																																																																																															
いきいきタウン	2	24	9	3	2	40																																																																																																															
すずらん	4	35	11	2	2	54																																																																																																															
かわきた	2	9	8	0	1	20																																																																																																															
もぐさ	3	9	10	2	3	27																																																																																																															
あさかわ	7	9	5	0	2	23																																																																																																															
合計	46	130	85	13	16	290																																																																																																															
実績報告																																																																																																																					

- ・立上げ：活動立ち上げの支援
- ・継続：運営等の伴走、継続的な支援
- ・連絡調整：包括連絡会等
- ・関係形成：人（団体）と関係構築
- ・その他：地域課題への取り組みに対する事前相談等

#### 4) 第2層生活支援コーディネーターの主な取り組み

包括	地域課題への取組み（協議体）
せせらぎ	・神明地区見守り活動（神明） ・若年性難病当事者のつどい場づくり（ほか）
多摩川苑	・体操（通い）の場の立上げ、継続支援 ・若年性認知症当事者の場支援（ほか）
すてっぷ	・自治会等と協働した映画会（通いの場・住民交流） ・プラチナ会議による地域課題の共有（ほか）
あいりん	・自治会等と協働した映画会（通いの場・住民交流） ・都営大坂上AP自治会（ほか）
いきいき タウン	・通いの場支援（平山） ・移動スーパー（買い物）への活動協力（ほか）
すずらん	・南平の保健室（多職種連携の強化・通いの場） ・買い物支援（南平2・5丁目）（ほか）
かわきた	・住民主体の体操の場の継続支援 ・医療・福祉専門職から挙げた課題の整理（ほか）
もぐさ	・UR・サロン・自治会との情報交換 ・三沢地域の住民交流の取り組み（三沢）（ほか）
あさかわ	・ほどくぼんおどり（アクションプラン） ・明星大学等とのボランティア交流（ほか）

#### 5) 住民主体の支え合い活動の市民啓発

##### ①互近助サービスちょこすけ 団体立上げ状況

団体数：12団体

- ①京王平山困りごとお助けクラブ
- ②ちょこっと・ひの助
- ③大坂上都営ちょこっとお助け隊
- ④南平ちょこっとお助け隊
- ⑤高幡台団地自治会互近助おたすけ隊
- ⑥えんこらしよ
- ⑦愛隣舎
- ⑧ペイ・フォワード
- ⑨川北地域コミュニティ協議会困りごとお助け部会
- ⑩いちほ会
- ⑪グリーンコープ日野ちょこすけ
- ⑫百草おたすけ隊

#### 6) 多職種（専門職）の連携

理学療法士や作業療法士、管理栄養士、保健師・看護師等及び市内企業の専門職とフレイル予防（社会参加）を通じた地域づくりを進めた。

##### ①食と体の体験型スタンプラリーの共同開催

（協力）ひのリハビリネットワーク・南多摩栄養士協議会日野地域  
WAFU×TANITA カフェ・イオンモール多摩平の森

#### 7) 在宅生活を支えるインフォーマル活動の検討

高齢者の在宅生活（移動支援）を支えるインフォーマル活動について、関係機関との調整・連絡等を行うため意見の提言・情報の収集

- ①ひらやま圏域ケアマネ交流会
- ②たかはた圏域ケアマネサロン
- ③ケアマネ協議会役員との情報交換
- ④ひのケアマネ協議会交流会での勉強会
- ⑤市内居宅介護支援事業所（ラピオンナースステーション・アリコケ

	<p>アセンター・やさしい手) との情報交換会</p> <p>8) 委員会等への出席  ①日野市介護保険運営協議会 (3回)  ②地域ケア会議 (6回)  ③わがまる委員会 (2回)  市や包括などの関係会議に出席、意見等の提言・情報収集を行った。</p> <p>9) 市民啓発事業  講演会&amp;パネルディスカッション  講師 国際長寿センター ディレクター 中村 一朗氏  パネラー 木田 高幹氏/小林 まさみ氏 (ボランティア活動者)  実施 2回 (計36人)  中央福祉センター (16人)  福祉支援センター (20人)</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域連絡会を第2層SC連絡会の場として地域課題の共有、意識合わせの機会とした。その結果第2層SC以外が思う地域課題に関する意見を聞き出すことが出来た。</li> <li>・既存団体においてもコロナ禍後、体力が落ちてきている団体が増加傾向にある。継続していくための支援が必要になっている。</li> <li>・第2層SCとの伴走支援を継続的に実施、地域の細かな情報を知り、ネットワークを広げることに繋がった。</li> <li>・各第2層SC (包括) との動きでは通いの場に関する支援が多く、地域での重要性と共に、日野市全体としても通いの場に関する課題解決 (目的・継続・新たに立ち上げ) を検討する必要があると考えている。</li> <li>・市民啓発事業では、市民活動を始めるきっかけとなるハードルを下げることを観点にボランティア活動者の声を聞く機会とした。</li> </ul>

事業名	<b>介護予防・フレイル予防推進業務</b>
事業形態	受託事業 (日野市)
財源内訳	受託金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目的	介護予防・フレイル予防推進員を配置し、住民主体の通いの場づくりや介護予防・フレイル予防活動につながる地域づくりを推進する。
内容	<b>1. 介護予防・フレイル予防活動の普及啓発</b>
実績報告	<p>1) 介護予防・フレイル予防推進員の配置 (2人) (令和3年度～)</p> <p>2) 介護予防団体等へフレイル予防の啓発活動  フレイル予防推進員による介護予防団体等へのモニタリングを活用し、「フレイル予防 (三本の矢・口腔ケア)」等を案内し、地域のフレイル予防活動の普及啓発を図る。</p> <p>3) 介護予防・フレイル予防活動の実態把握  ①フレイル予防に関し、高齢福祉課と打合せ (16回)  ②今後の連携について、健康課と打合せ (4回)</p>

内 容	2. 専門職等の多職種・他機関との連携															
実績報告	<p>1) 理学療法士等の専門職との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力測定会「はつらつシニア健康チェック」(4回)</li> <li>・ひのリハビリテーションネットワークとの打合せ(6回)</li> <li>・介護予防活動団体へ専門職の講師派遣依頼(8回)</li> </ul> <p>2) 地域包括支援センターへ情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター圏域会議において、フレイル予防活動について説明・情報提供</li> <li>・はつらつシニア健康チェック(体力測定会)やフレイル予防リーダー養成講座等フレイル予防事業への協力依頼(合計20回) (内訳) たかはた(4回) ひの(6回) とよだ(4回) ひらやま(6回)</li> </ul> <p>3) フレイル予防推進員研修の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくりによる介護予防研修(4回)</li> <li>・フレイル予防推進員研修(5回)</li> </ul> <p>4) イオンでうたおう! イオンでたいそう! の実施 日程 3/12(水) イオンモール多摩平の森イオンホール [体操編] 58人 [音楽編] 67人 リハビリ専門職にオリジナル体操と管理栄養士による栄養講座「たんぱく質摂取やカルシウム」を実施</p> <p>5) 他自治体(瑞穂町や多摩市)のフレイル予防推進員との情報交換</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 瑞穂町フレイル予防推進員と情報共有</li> <li>② 多摩市介護予防・フレイル予防事業取組見学</li> </ol>															
内 容	3. 体力測定会の実施															
実績報告	<p>1) はつらつシニア健康チェックの実施 実施回数: 4回(参加者130人)</p> <table border="1" data-bbox="443 1323 1050 1559"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>場 所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>たかはた</td> <td>湯沢福祉センター</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>もぐさ</td> <td>平山交流センター</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>ひの</td> <td>新町交流センター</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>とよだ</td> <td>多摩平交流センター</td> <td>32人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 高齢者団体に対するフレイル体力測定の実施 老人クラブ「けやきの会」で体力測定の実施(1回)</p>	圏域	場 所	参加者	たかはた	湯沢福祉センター	43人	もぐさ	平山交流センター	28人	ひの	新町交流センター	27人	とよだ	多摩平交流センター	32人
圏域	場 所	参加者														
たかはた	湯沢福祉センター	43人														
もぐさ	平山交流センター	28人														
ひの	新町交流センター	27人														
とよだ	多摩平交流センター	32人														
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防の普及のため、高齢福祉課や地域包括支援センター、健康課等との情報共有(体操の場の立ち上げや体力測定会など)を行うことで連携が深まっている。</li> <li>・他自治体(瑞穂町や多摩市)の取り組みなどの情報交換、見学を行い今後の具体的な活動の計画を検討する上で大変参考となる機会となった。</li> <li>・フレイル予防の研修に参加し、他自治体の推進員との情報交換もできたことから他市のとの情報交換や見学等の機会を今後も参加していく。</li> <li>・体力測定会等を通じて蓄積したデータの分析が今後の課題である。</li> </ul>															

事業名	<b>地域介護予防活動支援事業</b>										
事業形態	受託事業（日野市）										
財源内訳	受託金										
担当係	地域支援係										
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる										
目的	高齢者が、自ら要介護・要支援状態になることの予防に努めることができる環境を整備、地域住民による自主的な介護予防活動を育成、支援することで介護予防・フレイル予防につながる地域づくりを行う。										
内容	<b>1. 介護予防活動団体への支援（立上げ・継続モニタリング・交流）</b>										
実績報告	<p>1) 地域介護予防活動団体の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録団体数</th> <th>ひの筋実施団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>54 団体</td> <td>41 団体</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>57 団体</td> <td>44 団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 地域介護予防活動団体への各種支援  ①ひの筋体操立上げ支援団体（1団体）  日野台なかよし体操クラブ（支援回数4回）  ②活動の継続支援（モニタリング） 計54回実施</p> <p>3) 広く活動の周知や体操の普及による介護予防推進の支援  ①「ひの健幸貯筋体操」「おうちで、ひの筋（ZOOM版）」の紹介  ②登録団体の活動周知（Hi know!にて活動団体紹介） 47団体</p> <p>4) 地域介護予防団体交流会  フレイル予防・介護予防グループや地域サロンとの情報交換・交流会を実施。日野市高齢福祉課主催のサロン団体交流会と共同開催。  [日 程] 3/27（水）中央福祉センター  [参 加] 16団体 25人</p> <p>5) フレイル予防に関するアンケート調査  介護予防団体の現況把握のため、郵送によるアンケート調査を行った。  [期 間] 3/3（月）～3/17（月）  [対 象] 54団体 [回答数] 22団体</p> <p>6) ひの筋体操DVDの貸し出し及び販売（販売実績）11枚 @400円</p>			登録団体数	ひの筋実施団体	令和6年度	54 団体	41 団体	令和5年度	57 団体	44 団体
	登録団体数	ひの筋実施団体									
令和6年度	54 団体	41 団体									
令和5年度	57 団体	44 団体									
内容	<b>2. フレイル予防リーダーの確保・育成</b>										
実績報告	<p>1) フレイル予防リーダーの活動の場・交流会  内容) 体力測定会の運営サポート（5回・18人）  フレイルリーダー交流会（1回・15人）</p> <p>2) フレイル予防リーダーの作る通いの場「楽しいひの筋体操」  ①フレイル予防リーダーフォローアップ研修（3回・14人）  ②楽しいひの筋体操（9回実施：6月～11月）※8月は中止  （参加者）延べ363人（リーダー101人・一般262人）</p> <p>3) フレイル予防リーダー養成講座</p>										

	<p>フレイル予防の基礎的な知識を習得した市民ボランティア「フレイル予防リーダー」養成講座を企画実施。</p> <p>○修了 12人</p> <p>○日程 1/23～2/13（毎週木曜）13：30～16：00（中央福祉センター）</p> <p>○講師 高齢福祉課・地域包括支援センター・管理栄養士・理学療法士 フレイル予防リーダー・フレイル予防推進員</p>
内 容	<b>3. オンライン型「ひの健幸貯筋体操」の実施・継続</b>
実績報告	<p>自宅で介護予防体操ができるよう「おうちでひの筋Zoom」を実施 回数 計40回 ※第16弾～第19弾（1シリーズ10回） 参加者 延べ518人 配信：火曜日10：00～11：30</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より助成金の対象を「ひの筋体操を行う団体」のみ、用途についても「ひの筋体操に使うもの（おもり、DVD等）」としたことで、当初想定していた助成金の使われ方になっている。</li> <li>・既存の団体には専門職の派遣等を通じて正しいフレイル予防の理解や意識の向上を図っていく。</li> <li>・団体へのヒアリングを行い、登録団体の確認を改めて行った。</li> <li>・地域団体に対する体力測定会についてはフレイル予防リーダーの力で開催できる形を今後も検討していく。</li> <li>・運動に加えて交流（社会参加）の機会づくり等、コロナ禍以降のフレイル予防活動についての検討・実施を積極的に進めていく。</li> <li>・既存の団体には専門職の派遣等を通じて正しいフレイル予防の理解や意識の向上を図っていく。</li> <li>・フレイル予防リーダー同士で行うフォローアップ研修を行ったことでリーダー同士の連帯感や交流が深まり、地域活動への期待が高まっている。</li> <li>・フォローアップ研修をきっかけに、フレイル予防リーダーが作る通いの場「楽しいひの筋体操」を立ち上げ、月1回の実施を行い参加者からは好評を得ている。またリーダーの継続的な活動の場が創設され、スキルアップとともに、今後の活動拡大につなげていく。</li> </ul>

事業名	<b>障害者および高齢者団体等のバス借上補助</b>		
事業形態	自主事業		
財源内訳	会費、歳末たすけあい配分金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる		
目 的	高齢者や障害者等の外出機会の促進、市民活動の活性化を図るため、障害者団体や高齢者団体等が実施する研修やボランティア活動等で利用した借り上げたバス費用の一部を補助する。		
内 容	<b>1. 助成金申請受付および交付</b>		
実績報告	障害者団体や高齢者団体等が実施する研修や視察、ボランティア活動等で、民間バスを借り上げた費用の一部を補助する制度。申請書に基づいた利用区分に応じ、優遇措置を設定している。		
	1) 補助内容		
	対象団体	補助率	限度額
			交付回数

	障害者団体	補助対象経費の 1/2	上限30,000円 リフト付きバス利用の 場合上限40,000円	12回
	高齢者団体			4回
	市内地域団体	補助対象経費の 1/4	上限20,000円 リフト付きバス利用の 場合上限30,000円	1回
	その他の団体			0回
2) 補助実績				
		合 計		
6年度		17件	705,000円	
5年度		19件	684,500円	
内 容	<b>2. 広報周知</b>			
実績報告	本会 WEB サイトにて周知。			
事業効果・評価 方向性等	・昨年度と比べ、高齢者団体と福祉活動団体の利用がそれぞれ1件減ったが、バス借り上げ料の高騰により助成金総額は増加した。			

事業名	<b>みんなといっしょの運動会（障害者運動会）</b>
事業形態	共催事業（東京日野ライオンズクラブ）
財源内訳	寄附金、歳末たすけあい募金配分金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画 における視点	ともにつくる
目 的	ソーシャル・インクルージョンの理念に基づき、だれもが楽しめる場を作ること。また、この場を通して、様々な団体や個人がつながりを作ることが目的とする。
内 容	<b>障害者運動会の開催</b>
実績報告	参加団体 参加者 163人 内容：ボッチャ、パン食い競走、綱引き ゲスト：名村昌矩選手（デフサッカー日本代表） Power in da Performance
事業効果・評価 方向性等	・2025年にデフリンピックが東京で初めて開催されることから、日野市在住のデフサッカー日本代表の名村昌矩選手のデモンストレーションを通じてデフサッカーの普及・啓発ができた。 ・「障害の有無に関わらずみんな一緒に楽しめる社会」を実現させる為に活動しているパフォーマンス団体「Power in da Performance」を招いて、パフォーマンスを通じて参加者が楽しめる時間が作れた。

事業名	<b>日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務（あんしん住まいる日野）</b>
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	総務係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目 的	住宅確保要配慮者（低額所得者、高齢者、障害者等）を対象とした住宅相

	談窓口を設置し、必要となる居住支援サービスの案内と併せて民間賃貸住宅への円滑な入居を支援する。また、相談者のニーズを把握し、入居に至らない要因の整理や課題解決の方法等の検討、住宅セーフティネット機能の強化を図る。																														
内 容	<b>1. 相談窓口の設置</b>																														
実績報告	<p>相談業務はNPO法人東京オレンジが担い、下記のとおり実施した。</p> <p>1) 日時 毎週木曜日 13:00~/14:00~/15:00~/16:00~(各1時間)</p> <p>2) 場所 日野市役所内会議室等</p> <p>3) 相談実績 ※相談者内訳は重複あり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談者数</th> <th>高齢</th> <th>障害</th> <th>低所得 生保</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>97人</td> <td>48人</td> <td>15人</td> <td>14人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>119人</td> <td>60人</td> <td>24人</td> <td>24人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他 ひとり親世帯、DV被害、外国人等</p> <p>4) 転宅実績 (事業開始平成30年6月7日から)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談人数</th> <th>うち成約者数</th> <th>成約率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>119人</td> <td>39人</td> <td>32.8%</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>511人</td> <td>126人</td> <td>24.7%</td> </tr> </tbody> </table>		相談者数	高齢	障害	低所得 生保	その他	6年度	97人	48人	15人	14人	16人	5年度	119人	60人	24人	24人	8人		相談人数	うち成約者数	成約率	5年度	119人	39人	32.8%	累計	511人	126人	24.7%
	相談者数	高齢	障害	低所得 生保	その他																										
6年度	97人	48人	15人	14人	16人																										
5年度	119人	60人	24人	24人	8人																										
	相談人数	うち成約者数	成約率																												
5年度	119人	39人	32.8%																												
累計	511人	126人	24.7%																												
内 容	<b>2. 関係機関との連携</b>																														
実績報告	<p>1) 日野市居住支援協議会 (2回)</p> <p>2) 定例会 (2回)</p>																														
内 容	<b>3. 広報・周知</b>																														
実績報告	<p>1) 日野市居住支援ガイドブックの発行 事業案内とともに関連する他制度・サービスについての情報を掲載し、一般の方向けとしても活用可能。</p> <p>2) チラシの配架</p>																														
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例会では、相談員が気になるケースを日野市関係部署と共有し対応策について検討した。相談者が日野市で安心して生活し続けるために何が必要か意見交換を行った。</li> <li>相談者のうち高齢者(65歳以上)の割合が半数となった。日野市役所のセーフティネットコールセンターや生活福祉課から紹介された方が多く、関係機関の中で本相談事業が活用された。</li> </ul>																														

事業名	<b>日野市子どもの学習・生活支援事業 (ほっとも南平)</b>
事業形態	受託事業 (日野市)
財源内訳	受託金、利用料
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目的	生活困窮世帯等で家庭環境や社会生活上の課題を抱えた子どもを対象とし

	、居場所や学習の支援を通じコミュニケーション能力や学習習慣等の育成を行うと同時に、高校への進学を目的とした学習支援業務を行い、貧困の連鎖を食い止め困難を抱えた生活困窮者等の子どもの社会的自立を図る。																																								
内 容	<b>1. 利用者支援および状況把握</b>																																								
実績報告	<p>「ほっとも南平」は、生活困窮者自立支援法に基づき日野市が実施する子どもの学習等支援事業であり、主な学区は七生中学校と平山中学校としている。</p> <p>1) 職員数 合計20人 (3/31現在)      管理者(1人)・事務局職員(2人)・学習支援コーディネーター(1人)      居場所指導員(1人)・学習・居場所サポーター(11人)      調理員(2人)・送迎車運転手(2人)</p> <p>2) 家庭や学校以外の「第三の場所」としての子どもの居場所づくり</p> <p>①事業内容      セーフティネットコールセンターで登録された家庭の子どもの対象とした居場所や学習支援施設      食事：1食300円      帰り：車による送迎・保護者によるお迎え</p> <p>② 開所日時 毎週月・木 16:30～20:00 (祝日は休み)</p> <p>③ 利用者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者数</th> <th>内訳</th> <th>支援</th> <th>学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">18人</td> <td>小学生 5人</td> <td>居場所</td> <td>南平小・平山小</td> </tr> <tr> <td>中学生 5人</td> <td>学習</td> <td>七生中・平山中</td> </tr> <tr> <td>高校生 8人</td> <td>居場所</td> <td>三中・高校</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 開所日数及び利用者数 (延べ人数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開所数</th> <th>利用者数</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>91日</td> <td>739人</td> <td>8.12人</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>94日</td> <td>957人</td> <td>10.18人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) その他      休み期間等に日中活動や外出の機会を設け、通常の夜間帯では出来ない体験を企画した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>参加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿題解決大作戦&amp;昼食提供</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>「星と天体のお話し」&amp;昼食提供</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>外出体験「ベネッセスタードーム」</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>かがく実験教室「-196℃の世界」</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>バスハイク「そなエリア東京」</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>高幡不動尊初詣</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>	利用者数	内訳	支援	学校	18人	小学生 5人	居場所	南平小・平山小	中学生 5人	学習	七生中・平山中	高校生 8人	居場所	三中・高校		開所数	利用者数	平均	6年度	91日	739人	8.12人	5年度	94日	957人	10.18人	内容	参加	宿題解決大作戦&昼食提供	7人	「星と天体のお話し」&昼食提供	6人	外出体験「ベネッセスタードーム」	6人	かがく実験教室「-196℃の世界」	7人	バスハイク「そなエリア東京」	10人	高幡不動尊初詣	5人
利用者数	内訳	支援	学校																																						
18人	小学生 5人	居場所	南平小・平山小																																						
	中学生 5人	学習	七生中・平山中																																						
	高校生 8人	居場所	三中・高校																																						
	開所数	利用者数	平均																																						
6年度	91日	739人	8.12人																																						
5年度	94日	957人	10.18人																																						
内容	参加																																								
宿題解決大作戦&昼食提供	7人																																								
「星と天体のお話し」&昼食提供	6人																																								
外出体験「ベネッセスタードーム」	6人																																								
かがく実験教室「-196℃の世界」	7人																																								
バスハイク「そなエリア東京」	10人																																								
高幡不動尊初詣	5人																																								
内 容	<b>2. 関係機関との連携・情報共有</b>																																								
実績報告	<p>① 発達教育支援センターエールSSWとの話し合い(随時)</p> <p>② 日野市における中高生世代支援の検討委員会(1回)</p> <p>③ 子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会(七生・平山中地区)(各2回)</p> <p>④ 職員研修「ごちゃませ」がくれたもの～雄谷良成氏(社福)佛子園</p> <p>⑤ 南平地区社協と連携した子ども食堂「ぷらっと食堂」運営協力(1回)</p>																																								

	その他、利用者に関する小学校等とのケース会議に参加（随時）
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数は、昨年度より減少した。減少した主な要因として、高校進学が挙げられる。アルバイトや部活、通学時間で登録はあるが利用をしていない利用者が増えた。</li> <li>・長期休暇期間や日曜を利用して、日中開所（料理体験や自由研究）、プラネタリウム、バスハイク、初詣などの多様な体験を継続して作っていく。</li> <li>・家庭内の課題（ネグレクト・障害・虐待・親子不和）により、家に帰りがらない子どもやほっとも以外での食事（確保）に不安がある子、不登校（欠席）気味になっている子が増えている。必要に応じて家庭の子ども達に対しては学校等とも連携していきたい。</li> </ul>

事業名	<b>視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務</b>		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	地域支援係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる		
目的	日野市の情報のデージー版を作成（録音・編集）し、視覚に障害のある方へ日常生活に必要な情報の提供を行う。		
内容	<b>1. 朗読（デージー）版「広報ひの」の作成</b>		
実績報告	朗読サークルひのと協働し、視覚に障害ある方へ「広報ひの」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。 （委託元）市長公室		
		発行回数	内容内訳
	6年度	16回	通常号 12回/32分（9回）・40分（3回） 臨時号 2回/4分（1回）・2分（1回） ごみ情報誌エコー 2回/増刷含む
5年度	16回	通常号 12回/32分（9回）・40分（3回） 臨時号 2回/4分（1回）・2分（1回） ごみ情報誌エコー 2回/増刷含む	
内容	<b>1. 朗読（デージー）版「広報ひの」の作成</b>		
実績報告	朗読サークルひのと協働し、視覚に障害ある方へ「広報ひの」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。 （委託元）市長公室 1）業務実績 16回（通常12回・臨時2回・ごみ情報誌2回）		
内容	<b>2. 朗読（デージー）版「ひの市議会だより」の作成（年4回）</b>		
実績報告	朗読サークルひのと協働し、視覚に障害ある方へ「ひの市議会だより」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。 （委託先）議会事務局 1）業務実績 4回発行		
内容	<b>3. 朗読（デージー）版「防災ガイドブック」の作成（1回）</b>		
実績報告	朗読サークルひのと協働し、視覚に障害ある方へ「防災ガイドブック」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）した。（委託元）防災安全課 1）業務実績 1回発行		

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声版「広報ひの」・「市議会だより」については、定期発行となり滞りなく作成することができた。</li> <li>・視覚障害者への情報保障として、音声版の出版物作成の必要が高まっており、防災ガイドブックではマップ部分での読み上げ方等を防災安全課とともに丁寧な原稿づくりを行い作成に至った。</li> </ul>
-----------------	--

## 在宅福祉事業

事業名	<b>在宅高齢者ケアサービス事業</b>																																														
事業形態	補助事業（日野市）																																														
財源内訳	参加費、利用料、補助金、繰越金																																														
担当係	在宅サービス係																																														
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																																														
目的	日常生活に支援が必要な在宅高齢者に、市民参加による会員制の家事援助等の活動や体操、サロン、クラブ活動等の交流事業を実施することで、市民相互の支え合いの仕組みをつくりながら在宅生活を支援する。																																														
内容	<b>1. 利用会員（在宅高齢者）の生活支援</b>																																														
実績報告	<p>1) 職員の体制</p> <p>日野市高齢者福祉総合計画において取り入れられた4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・たかはた・ひらやま）に合わせて相談員（職員）を地域担当制で配置し、高齢者食事宅配サービス、第1号訪問事業生活援助型(A・B)も含めた複合的な相談に対応している。</p> <p>2) 活動実績</p> <p>①会員数及びサービス利用者・活動者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">利用会員</th> <th colspan="2">協力会員</th> </tr> <tr> <th>会員数</th> <th>月平均利用者数</th> <th>会員数</th> <th>月平均活動者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>432人</td> <td>129人</td> <td>101人</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>424人</td> <td>132人</td> <td>118人</td> <td>54人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※月平均は小数点以下四捨五入。</p> <p>②利用時間と利用件数（延べ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用時間</th> <th>利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>7,141.0時間</td> <td>4,957件</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>7,402.5時間</td> <td>5,181件</td> </tr> </tbody> </table> <p>③サービス内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>家事援助</th> <th>身の回りの世話</th> <th>外出の付き添い</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>1,633件</td> <td>63件</td> <td>205件</td> <td>313件</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>1,631件</td> <td>98件</td> <td>231件</td> <td>235件</td> </tr> </tbody> </table>					利用会員		協力会員		会員数	月平均利用者数	会員数	月平均活動者数	6年度	432人	129人	101人	54人	5年度	424人	132人	118人	54人		利用時間	利用件数	6年度	7,141.0時間	4,957件	5年度	7,402.5時間	5,181件		家事援助	身の回りの世話	外出の付き添い	その他	6年度	1,633件	63件	205件	313件	5年度	1,631件	98件	231件	235件
	利用会員		協力会員																																												
	会員数	月平均利用者数	会員数	月平均活動者数																																											
6年度	432人	129人	101人	54人																																											
5年度	424人	132人	118人	54人																																											
	利用時間	利用件数																																													
6年度	7,141.0時間	4,957件																																													
5年度	7,402.5時間	5,181件																																													
	家事援助	身の回りの世話	外出の付き添い	その他																																											
6年度	1,633件	63件	205件	313件																																											
5年度	1,631件	98件	231件	235件																																											
内容	<b>2. 協力会員（市民の協力者）の活動支援</b>																																														
実績報告	1) 会員向け講演会の開催 高齢者理解を深め、支援の質を高めるための講演会を開催した。																																														

	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>内容</td> <td>参加者</td> </tr> <tr> <td>認知症の人の世界に寄り添う 講師：松岡佳美 氏（介護老人保健施設みかわ看護師長）</td> <td>13人</td> </tr> </table> <p>2) 活動実習および協力依頼 新規協力会員が早い段階で活動経験を積めるよう、活動実習や積極的な協力依頼を行った。</p> <p>3) 意見交換会の開催 協力会員が日頃の活動の悩みや工夫などを自由に意見交換できる集いの場を開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>場所</td> <td>参加者</td> </tr> <tr> <td>ガスト高幡不動産</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>ココス豊田店</td> <td>5人</td> </tr> </table> <p>4) 次年度の意向確認 協力会員の活動の現状や今後の希望を把握するため、年度の切替り時にはがきによる意向確認を行った。</p>	内容	参加者	認知症の人の世界に寄り添う 講師：松岡佳美 氏（介護老人保健施設みかわ看護師長）	13人	場所	参加者	ガスト高幡不動産	6人	ココス豊田店	5人		
内容	参加者												
認知症の人の世界に寄り添う 講師：松岡佳美 氏（介護老人保健施設みかわ看護師長）	13人												
場所	参加者												
ガスト高幡不動産	6人												
ココス豊田店	5人												
内 容	<b>3. 会員募集の強化</b>												
実績報告	<p>1) 事業説明会の開催 協力会員を募集するための事業説明会を開催した。 開催回数：6回（参加者13人） ※ハンディキャブ事業と合同開催</p> <p>2) 様々な広報媒体の活用 協力会員の募集にあたり、ひの社協だより、広報ひの、日野市公式LINE、チラシ等様々な媒体を活用して広報を行った。</p>												
内 容	<b>4. 地域での支えあいの仕組みづくり</b>												
実績報告	<p>1) クラブ活動</p> <p>①女性限定麻雀クラブ 活動中 毎月第2,4月曜日午後に定期的に集まり、複数の卓で交代しながらの健康麻雀。</p> <p>②将棋クラブ 活動休止</p> <p>③英会話クラブ 活動休止</p> <p>④料理クラブ 活動休止</p> <p>2) おしゃべりサロン 利用会員と協力会員の会員相互の交流の場としての活動。はつらつ体操終了後に開催。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>内容</td> <td>参加者</td> </tr> <tr> <td>スマホ個別相談会</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>星空散歩</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>スマホ個別相談会</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>防犯講習会</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>春の陽だまりミニコンサート</td> <td>30人</td> </tr> </table> <p>3) はつらつ体操 毎月1回、楽しく気軽に介護予防になる体操教室（利用・協力会員向け）</p>	内容	参加者	スマホ個別相談会	11人	星空散歩	13人	スマホ個別相談会	4人	防犯講習会	11人	春の陽だまりミニコンサート	30人
内容	参加者												
スマホ個別相談会	11人												
星空散歩	13人												
スマホ個別相談会	4人												
防犯講習会	11人												
春の陽だまりミニコンサート	30人												

	<p>を開催。講師：木村明美 氏（介護予防指導士） 開催回数：11回（台風のため1回中止）（参加人数144人）</p> <p>4) バスハイク 会員間の交流を深めるためのバスハイクを開催した。</p> <table border="1" data-bbox="466 282 1426 497"> <thead> <tr> <th data-bbox="466 282 1275 331">内容</th> <th data-bbox="1275 282 1426 331">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="466 331 1275 497">           令和6年度10月バスハイク            「秋バラ香る植物園と旬を味わう日本料理」            （神代植物公園⇒深大寺水神苑⇒JRA競馬博物館⇒大東京卸売センター）         </td> <td data-bbox="1275 331 1426 497">23人</td> </tr> </tbody> </table> <p>5) 会報誌「ねっとわーく」の発行 5月・7月・9月・12月・2月の各月に約500部を会員向けに発行。事業や地域に関する情報を提供し、協力会員及び利用会員の暮らしや活動の充実を促した。</p>	内容	参加者	令和6年度10月バスハイク 「秋バラ香る植物園と旬を味わう日本料理」 （神代植物公園⇒深大寺水神苑⇒JRA競馬博物館⇒大東京卸売センター）	23人
内容	参加者				
令和6年度10月バスハイク 「秋バラ香る植物園と旬を味わう日本料理」 （神代植物公園⇒深大寺水神苑⇒JRA競馬博物館⇒大東京卸売センター）	23人				
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力会員数は高齢化や新規入会者の少なさにより減少し続けている。事業説明会の開催にあたっては様々な広報媒体で開催したが、毎回少人数にとどまった。次年度は説明会の開催時期や広報手段を見直し、募集強化に注力したい。</li> <li>・おしゃべりサロンやはつらつ体操はコロナ禍前のように活動している。参加した会員からは身体を動かす機会を喜ぶ声が聞かれた。会員同士の交流の場を今後も開いていきたい。</li> </ul>				

事業名	<b>移送サービス（日野ハンディキャブ）事業</b>		
事業形態	補助事業（日野市）		
財源内訳	補助金、利用料		
担当係	地域支援係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる		
目的	<p>身体的もしくは認知機能を理由に一人で公共交通機関での移動が困難な市内在住・在宅の高齢者や障害者が気軽に外出できるよう、福祉車両を使い外出支援を行う。</p> <p>収支形態、車両整備等について検討が急務となっており、高齢福祉課・福祉政策課と関係を密にし、調整を行っていく。</p>		
内容	<b>1. 福祉車両による高齢者や障害者の移動・外出支援</b>		
実績報告	1) 保有車両 7台（福祉有償専用車両）		
	形式	台数	内訳
	大型ワゴン車	2台	キャラバン・ハイエース 各1台
	普通車	2台	セレナ（車いすリフトあり1台） バネット（車いす対応スロープ1台）
	軽自動車	3台	AZワゴン（車いす対応スロープ3台）
	2) 支援実績		
①実績			
	利用登録者	利用件数	走行距離
6年度	243人	2,013件	22,475Km

	5年度	269人	2,214件	23,986Km
	②担当者による訪問 新規利用希望のあった自宅に訪問し、身体状況や配車場所の確認と併せ、事業説明や利用手続きを行った。			
内容	<b>2. 運転協力者の確保（養成）</b>			
実績報告	1) 運転協力者数 23人 2) 運転協力者の募集 広報紙ひの社協だよりやホームページ、日野市公式LINE等を利用して、運転協力者の募集（確保）を行った。 3) 運転協力者に対する継続的な研修 「福祉有償運送運転者講習会」参加者 2人 4) 運転協力者連絡会（第1火曜日）12回 5) 在宅高齢者ケアサービス事業説明会を合同で行い、運転協力者の確保につながった。			
内容	<b>3. 健全・安全を配慮した持続可能な運営体制の再構築</b>			
実績報告	高齢者や障害者の在宅生活（移動支援）を支えるインフォーマルな活動を継続的に実施していくため、車両の維持管理及び料金形態について、高齢福祉課と意見交換・情報収集等を行った。 内容 ①日野市福祉有償運送事業に関する情報交換（3回） ②福祉有償運送運営協議会（1回）			
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両3台が初年度登録から10年が経過し、維持管理の経費が高んでいるため、来年度の補助要綱改正に伴い入替準備を開始した。</li> <li>・高齢者から障害者まで利用する本事業では、市内でも最大規模で運行し利用者や福祉関係者から大きな支持を得ている一方、財源面などの課題があり、引き続き日野市の関係部署等と検討していく。</li> <li>・事務手続きが煩雑になっていることが大きな課題となっていることから、今後はシステムを充実できるようにすすめていく。</li> <li>・道路運送法第78条の改定による料金改定を福祉有償運送運営協議会に諮り、承認を得られたため令和7年度から新料金体系を導入予定である。</li> <li>・月平均4人程度の新規申し込みがあり、地域からの利用の要望は高い。</li> <li>・運転協力者の不足や同一時間帯への予約等により、依頼をお断りするケースが増えている。キャンセル待ち等の対応を適宜行い、できる範囲で要望に応えられるよう努めている。</li> <li>・市内の交通（移動）の課題について検討することが急務となっている。</li> </ul>			

事業名	<b>高齢者食事宅配サービス事業</b>
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	在宅サービス係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる

目的	身体状況や疾病等により買い物・調理が困難となった在宅高齢者等を対象に、栄養管理した昼食弁当を提供、食の確保や健康状態の維持を支援する。また、配達時は利用者へ直接手渡すことで見守り・安否確認を行う。																							
内容	<b>1. 在宅高齢者への栄養管理した昼食の提供</b>																							
実績報告	新規申込者数 113人(昨年度114人)																							
内容	<b>2. 利用者の見守り・安否確認の実施</b>																							
実績報告	<p>1) 配食事業者 4事業所(業務委託) ①夢ふうせん ②福祉カフェテリア ③ベルハート・エール ④マザアス</p> <p>2) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> <th>配食数</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>3,867人</td> <td>57,165食</td> <td>① 6,838食 ② 18,634食 ③ 15,044食 ④ 16,649食</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>3,845人</td> <td>57,244食</td> <td>① 7,467食 ② 17,215食 ③ 15,193食 ④ 17,369食</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 安否確認</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対応件数</th> <th>安否確認結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>350件</td> <td>無事341件・救急5件・逝去0件・その他4件</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>360件</td> <td>無事354件・救急2件・逝去1件・その他3件</td> </tr> </tbody> </table>				利用者数	配食数	内訳	6年度	3,867人	57,165食	① 6,838食 ② 18,634食 ③ 15,044食 ④ 16,649食	5年度	3,845人	57,244食	① 7,467食 ② 17,215食 ③ 15,193食 ④ 17,369食		対応件数	安否確認結果	6年度	350件	無事341件・救急5件・逝去0件・その他4件	5年度	360件	無事354件・救急2件・逝去1件・その他3件
	利用者数	配食数	内訳																					
6年度	3,867人	57,165食	① 6,838食 ② 18,634食 ③ 15,044食 ④ 16,649食																					
5年度	3,845人	57,244食	① 7,467食 ② 17,215食 ③ 15,193食 ④ 17,369食																					
	対応件数	安否確認結果																						
6年度	350件	無事341件・救急5件・逝去0件・その他4件																						
5年度	360件	無事354件・救急2件・逝去1件・その他3件																						
内容	<b>3. サービスの見直しに伴う意見交換と周知</b>																							
実績報告	<p>1) 配食事業者情報交換会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>参加団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・高齢者配食の利用者負担見直しについて</td> <td>・配食事業者4社 ・高齢福祉課</td> </tr> <tr> <td>・高齢者配食の安否確認ルールについて ・置き配対応について ・アレルギー対応について ・高齢者配食の利用者負担見直しについて</td> <td>・配食事業者4社</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 料金改定に向けた市との打合せ 令和7年度の料金改定に向け、高齢福祉課と打合せを重ねた。 打合せ回数：5回</p> <p>3) 料金改定の周知 配食利用者および関係者に向けて、料金改定の周知を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>送付物</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">6月</td> <td>・市からの通知文</td> <td>・居宅介護支援事業所 ・地域包括支援センター</td> </tr> <tr> <td>・市からの通知文 ・利用意向アンケート ・同意書</td> <td>・利用者本人</td> </tr> </tbody> </table>			内容	参加団体	・高齢者配食の利用者負担見直しについて	・配食事業者4社 ・高齢福祉課	・高齢者配食の安否確認ルールについて ・置き配対応について ・アレルギー対応について ・高齢者配食の利用者負担見直しについて	・配食事業者4社	時期	送付物	対象者	6月	・市からの通知文	・居宅介護支援事業所 ・地域包括支援センター	・市からの通知文 ・利用意向アンケート ・同意書	・利用者本人							
内容	参加団体																							
・高齢者配食の利用者負担見直しについて	・配食事業者4社 ・高齢福祉課																							
・高齢者配食の安否確認ルールについて ・置き配対応について ・アレルギー対応について ・高齢者配食の利用者負担見直しについて	・配食事業者4社																							
時期	送付物	対象者																						
6月	・市からの通知文	・居宅介護支援事業所 ・地域包括支援センター																						
	・市からの通知文 ・利用意向アンケート ・同意書	・利用者本人																						

	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの通知文</li> <li>・利用意向アンケート</li> <li>・同意書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本人 (アンケート未回答者)</li> <li>・利用者家族</li> </ul>										
	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料のお知らせ</li> <li>・利用終了のお知らせ</li> <li>・辞退届 (いずれも市より送付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本人</li> </ul>										
<p>※料金改定について、市および配食事業者と連携して周知を図ったが、理解が難しい方も一定数おり、都度個別に対応した。</p> <p>4) 夕食事業受託に向けた打合せ 令和7年度からの夕食事業受託に向けて、日野市およびBeすけっとCookと打ち合わせを重ねた。 打合せ回数：2回</p> <p>5) 配食事業者調理施設訪問 以下の日程で調理施設の訪問を実施。調理環境を確認するとともに、各事業者が抱える課題のヒアリングを行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業者</th> <th>訪問者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マザアス</td> <td>9人 (高齢福祉課、子ども家庭支援センター、社協)</td> </tr> <tr> <td>福祉カフェテリア</td> <td></td> </tr> <tr> <td>夢ふうせん</td> <td>8人 (高齢福祉課、子ども家庭支援センター、社協)</td> </tr> <tr> <td>ベルハート・エール</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				事業者	訪問者数	マザアス	9人 (高齢福祉課、子ども家庭支援センター、社協)	福祉カフェテリア		夢ふうせん	8人 (高齢福祉課、子ども家庭支援センター、社協)	ベルハート・エール	
事業者	訪問者数												
マザアス	9人 (高齢福祉課、子ども家庭支援センター、社協)												
福祉カフェテリア													
夢ふうせん	8人 (高齢福祉課、子ども家庭支援センター、社協)												
ベルハート・エール													
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕食事業の受託に向けて、利用者および配食事業者からの問い合わせに対応できるよう体制を整えていきたい。</li> </ul>												

事業名	<b>産後家庭向け配食サービス事業</b>		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	在宅サービス係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる		
目的	産後の母親を対象に栄養管理した昼食弁当を提供することで健康を保持し、安定した新生児の育児支援を目指す。また、配達時は産後の母親の健康状態等の見守りを行う。		
内容	<b>1. 産後の母親への栄養管理した昼食の提供</b>		
実績報告	新規申込者数		
		申込件数	利用者数
	6年度	90件	104人
5年度	95件	115人	
内容	<b>2. 利用者の見守り・安否確認の実施</b>		
実績報告	<p>1) 配食事業者 4事業所（業務委託） ①夢ふうせん ②福祉カフェテリア ③ベルハート・エール ④マザアス</p> <p>2) 実績</p>		

	延べ利用者数	配食数	内訳	安否確認 対応件数	安否確認 結果				
	198人	1,668食	①232食 ②483食 ③612食 ④341食	0件	無事 0件 救急 0件 その他 0件				
	193人	1,731食	①269食 ②244食 ③777食 ④441食	0件	無事 0件 救急 0件 その他 0件				
内 容	<b>3. 安定したサービス体制の確保</b>								
実績報告	<p>1) 情報交換会 高齢者食事宅配サービス事業の情報交換と併せて実施した。</p> <p>2) 産前産後弁当宅配事業者交流会 埼玉県狭山市の市民団体「こそだて支援comono」が企画する事業者交流会にオンラインで参加した。</p> <p>3) 産前産後弁当宅配事業者交流会 埼玉県狭山市の市民団体「こそだて支援comono」が企画する事業者交流会にオンラインで参加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>参加団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>産前産後弁当宅配事業の現状について</li> <li>置き配対応について</li> </ul> </td> <td>こそだて支援 comono/狭山市総合子育て支援センター/狭山市保健センター/柴沼晃 氏(東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室講師) / 東川町保健福祉課(北海道) / 日野市子ども家庭支援センター</td> </tr> </tbody> </table>					内容	参加団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>産前産後弁当宅配事業の現状について</li> <li>置き配対応について</li> </ul>	こそだて支援 comono/狭山市総合子育て支援センター/狭山市保健センター/柴沼晃 氏(東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室講師) / 東川町保健福祉課(北海道) / 日野市子ども家庭支援センター
内容	参加団体								
<ul style="list-style-type: none"> <li>産前産後弁当宅配事業の現状について</li> <li>置き配対応について</li> </ul>	こそだて支援 comono/狭山市総合子育て支援センター/狭山市保健センター/柴沼晃 氏(東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室講師) / 東川町保健福祉課(北海道) / 日野市子ども家庭支援センター								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>産後配食を行う事業者は全国でも数が少ないため、今後の事業の方向性を見定めるべく、事業者間での情報交換は欠かせないものとなっている。今回も本事業の現状と課題を認識する有意義な会となった。</li> <li>利用者アンケートでは「利用期間を延長してほしい」「社協職員の訪問調査が負担」「ネット申込にしてほしい」といった声が寄せられた。今後の事業の方向性について所管課と協議を進めたい。</li> </ul>								

事業名	<b>車いす貸出事業</b>
事業形態	自主事業
財源内訳	利用料
担当係	総務係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目的	高齢、障害、怪我等で歩行が困難な方に短期間の車いすの貸出を行う。
内容	<b>利用状況の把握、在庫管理</b>
実績報告	貸出実績 213件 (昨年度 201件)
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>最長3ヶ月の貸出期間を超えても返却されないケースや、経年劣化により修理や入れ替えが必要なケースがあり、車いすの在庫が不足してしまう状況が何度かあった。利用する方たちへ期間内での返却を促すことで、次に利用される方が困らないよう対応していきたい。</li> </ul>

	・6ヶ月以上の長期間に亘って利用されている方へ案内を送付し、生活に支障が出ないよう他制度利用等も説明しながら返却を促した。
--	---

事業名	<b>コミュニケーション支援事業</b>			
事業形態	受託事業（日野市）			
財源内訳	受託金			
担当係	総務係			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる			
目的	聴覚障害者の情報保障やコミュニケーションの円滑化を図り、社会参加の機会向上のため、手話通訳者等を派遣する。 聴覚障害者が地域で安心して暮らせるよう相談を受け、関係機関と連携して支援する。			
内容	<b>1. 利用者支援</b>			
実績報告	聴覚障害者に対して手話通訳者・要約筆記者を派遣し、当該聴覚障害者の日常生活を支援。			
	1) 手話通訳実績 ( ) 内は東京手話通訳等派遣センターによるもの			
		利用者数	利用件数	派遣人数
	6年度	72人	449件 (82件)	531人 (94人)
	遠隔手話通訳 (再掲)			
	利用者数	利用件数		
6年度	1人	6件		
2) 要約筆記実績				
	利用者数	利用件数		
6年度	5人	38件		
3) ケースカンファレンスへの出席 1回				
内容	<b>2. 手話通訳者の確保・定着</b>			
実績報告	登録手話通訳者数 17人			
内容	<b>3. 手話通訳者の資質向上</b>			
実績報告	1) 新人研修 新たに手話通訳者となった者や経験歴の浅い者を対象とした技術を磨くための研修を、日野市聴覚障害者協会及び日野市登録手話通訳者の会の協力を得て実施した。			
	①打合せ (1回)			
	②内容			
		内容	実施回数	
	座学 「コミュニケーション支援事業の概要」、「手話通訳者の心構え」、「日野市内の障害 (児) 者の施設について」など 講師 東京手話通訳等派遣センター、日野市聴覚障害者協会など	5回		
	現場実習 第27回ひの新選組まつり会場、日野市障害者	2回		

	関係団体連絡協議会 運営委員会									
	<p>2) スキルアップ研修  経験年数に関係なく日野市登録手話通訳者を対象とした研修を、日野市聴覚障害者協会及び日野市登録手話通訳者の会の協力を得て年度内に3回実施した。</p> <p>①打合せ (2回)  ②内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事例検討 「デマンド・コントロール・スキーマー」 通訳現場で起きたことに対して客観的に検証や通訳現場で起きやすいハラスメントや問題について等のアドバイス</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>読み取り技術「・生い立ち・子ども・仕事」 講師 東京手話通訳等派遣センター ※日野市在住の聴覚障害者の手話動画を使用し実施。</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>聞き取り表現 「SHIN HINOSHI YAKUSYO～想いをカタチに」 講師 東京手話通訳等派遣センター</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>		内容	参加人数	事例検討 「デマンド・コントロール・スキーマー」 通訳現場で起きたことに対して客観的に検証や通訳現場で起きやすいハラスメントや問題について等のアドバイス	14人	読み取り技術「・生い立ち・子ども・仕事」 講師 東京手話通訳等派遣センター ※日野市在住の聴覚障害者の手話動画を使用し実施。	14人	聞き取り表現 「SHIN HINOSHI YAKUSYO～想いをカタチに」 講師 東京手話通訳等派遣センター	9人
内容	参加人数									
事例検討 「デマンド・コントロール・スキーマー」 通訳現場で起きたことに対して客観的に検証や通訳現場で起きやすいハラスメントや問題について等のアドバイス	14人									
読み取り技術「・生い立ち・子ども・仕事」 講師 東京手話通訳等派遣センター ※日野市在住の聴覚障害者の手話動画を使用し実施。	14人									
聞き取り表現 「SHIN HINOSHI YAKUSYO～想いをカタチに」 講師 東京手話通訳等派遣センター	9人									
内 容	<b>4. 関係機関との連携</b>									
実績報告	<p>1) 意思疎通支援に関する運営委員会 (2回)</p> <p>2) 日野市登録手話通訳者の会 定例会への出席 (1回)</p>									
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話通訳者派遣実績は、ほぼ昨年度同様となった。</li> <li>・要約筆記者派遣実績は、昨年度の約2倍となった。聞こえない方がサークル活動へ参加する際の派遣であり、社会参加につながっている。</li> <li>・手話通訳者や要約筆記者の派遣以外に、利用者の来所やメールによる相談対応、地域包括支援センターなどが開催するケースカンファレンスへの出席を通じて、利用者の状況や課題の把握に努めながら、相談支援を行った。</li> <li>・聞こえない方が窓口に来所された際、本会で話の内容を理解することが困難な場合は、日野市設置手話通訳者と連携しながら解決に結びつけた。</li> <li>・スキルアップ研修(手話通訳者研修)は令和5年度まで独立した日野市受託事業だったが、令和6年度よりコミュニケーション支援事業に一本化された。研修の企画・実施にあたっては、日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会の協力の下、連携して行った。</li> </ul>									

事業名	<b>ウクライナ避難者支援</b>
事業形態	受託事業(日野市)
財源内訳	受託金
担当係	在宅サービス係・権利擁護係・地域支援係・ボランティア係・総務係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目的	ロシアによる軍事侵攻により、ウクライナからの避難を余儀なくされた方達の市内における生活を支援すること。
内容	<b>1. 訪問支援</b>

実績報告	<p>ウクライナ避難者の居宅を職員が直接訪問し、困りごと等の聞き取りを行い、買い物への同行や行政サービスに結びつける等の支援を行う。          なお、訪問の際には必要に応じてウクライナ避難者との通訳が可能な通訳支援員を同行させる。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>利用件数</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>6年度</td> <td>11件</td> <td>17時間</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>36件</td> <td>69時間</td> </tr> </table> <p>インターネット利用や現金両替等、日常生活に関する断続的な相談を受け支援を行っている。また知人から貰い受けた洗濯機やエアコンの移設、首や腰を痛めた避難者への食料品の配送等の対応をした。</p>		利用件数	時間	6年度	11件	17時間	5年度	36件	69時間
		利用件数	時間							
6年度	11件	17時間								
5年度	36件	69時間								
内容	<b>2. 相談支援</b>									
実績報告	<p>訪問支援以外において、ウクライナ避難者からの相談を電話、メール等で対応する。また、必要に応じて、民間サービスや行政サービスとのコーディネートを行う。</p> <p>利用件数：18件（5年度18件）</p>									
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の避難者は年度当初4人から1人が転出し、3人となった。また、他機関の支援者が付いた避難者もあり、支援を求められる件数、時間数とも昨年度より減少傾向となった。</li> <li>避難者の地域生活に安定が見えるようになったことから、令和7年度より相談支援を中心とした事業体系に変更する方向となった。</li> </ul>									

## ボランティア活動推進事業

事業名	<b>日野市ボランティア・センター</b>																						
事業形態	自主事業																						
財源内訳	参加費、手数料、寄附金、歳末たすけあい募金配分金、繰入金																						
担当係	ボランティア係																						
地域福祉活動計画 における視点	ともにつくる																						
目的	<p>市民ボランティアや市民活動団体の活動の支援を行うこと。          市民からの相談を受け、解決まで支援を行うこと。          それぞれの個人や団体の多様性を力にし、支え合える環境を作ることを目的とする。</p>																						
内容	<b>1. ボランティア相談・コーディネート</b>																						
実績報告	<p>1) ボランティアコーディネート          ボランティア活動をやりたい人と、ボランティアに手伝ってほしい個人や団体をマッチングする「ボランティアコーディネート」を行った。</p> <p>① ボランティア登録者・活動者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">個人</th> <th colspan="2">団体</th> </tr> <tr> <th>登録者</th> <th>活動者</th> <th>登録団体</th> <th>活動団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>428人</td> <td>延べ123人</td> <td>95団体</td> <td>延べ37団体</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>392人</td> <td>延べ64人</td> <td>67団体</td> <td>延べ17団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>※活動者に昨年度から継続的に活動している人数は含まない。          (新規活動数)</p>					個人		団体		登録者	活動者	登録団体	活動団体	6年度	428人	延べ123人	95団体	延べ37団体	5年度	392人	延べ64人	67団体	延べ17団体
	個人		団体																				
	登録者	活動者	登録団体	活動団体																			
6年度	428人	延べ123人	95団体	延べ37団体																			
5年度	392人	延べ64人	67団体	延べ17団体																			

②コーディネート結果

	ニード受付	成立
6年度	107件	82件
5年度	72件	55件

2) 窓口相談業務

ボランティア窓口相談員にボランティアコーディネーター業務のサポートをしてもらった。月1回、窓口相談員連絡会を開催した。

3) ボランティア交流会開催 (1回)

東京光の家の光バンドを招き、登録ボランティア含め、ボランティアに関心のある方に向けて交流会を開催した。

4) 多様で複雑な課題を抱える方への相談対応

不登校・引きこもり・精神疾患・低所得等多様で複雑な課題を抱える方からの連絡に対し、電話や訪問での相談対応や他機関への紹介を行った。

5) 誰でもすぐに参加できるボランティア活動 (すぐボラ)

①使用済み切手、ペットボトルキャップの収集

協力件数 延べ 262件

②軽作業ボランティア

- ・不登校や引きこもりなどの課題を抱える方が安心して参加できるように、本人に配慮したプログラムを提案・実施した。

また、以下の学校と連携した活動を行った：

- ・日野第一中学校・大坂上中学校ボランティア部の生徒が、毎週木曜日に1時間程度、フードパントリーの仕分けなどのボランティア活動を実施。
- ・東京都立七生特別支援学校高等部生徒の実習を受け入れ。フードパントリーの仕分け、封入作業、車椅子清掃など。

6) 傾聴ボランティア養成講座開催

7) ボランティア保険取扱事業

①東京都社会福祉協議会「ボランティア保険」加入取扱

	団体件数及び人数	個人人数
6年度	103件	2,019人
		314人

② 東京都社会福祉協議会「行事保険」加入取扱

	件数	加入人数
6年度	191件	8,668人

内容

**2. 多様なネットワークの構築**

実績報告

1) 市民活動団体との連携

①まちづくり市民フェア 2024 実行委員企画の参画

昨年から通常開催を再開し、好評だったハンドメイドショップやフリーマーケットを継続開催。多くの市民が参加できる企画となった。

- ・実行委員会の参加 (11回)
- ・まちづくり市民フェア 2024 の実施

②東京日野ロータリークラブ、東京飛火野ロータリークラブの主催するフードライブ活動へ下記のように協力した。

会場	内容	寄付量
イオンモール多摩平の森	フードドライブ	34l kg

③ まち活

ボランティア・市民活動を共に行う仲間づくりと、主に定年退職前後の市民の社会参加促進を目的とした交流イベントを下記の内容で実施した。

内容	参加者
<p><b>【午前の部】</b>            ①経験者は語る            異なる分野・年代の登壇者が、市民活動へのきっかけや魅力を語った。ボランティアセンターが3人を紹介。            加藤俊和氏（すまさぼ）、高橋遊亀氏（かめひろば）            上田綾子氏（いちどり農園）            ②市民活動PRタイム            ③ランチ交流会  <b>【午後の部】</b>            市民活動はじめて相談会</p>	<p>午前の部70人            午後の部38人</p>

④日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト実行委員会への参加（4回）

⑤スポーツレクリエーションフェスティバル実行委員会への参加（4回）

⑥車いす街歩き in 日野 2025の開催 共催 Weelog!

⑦能登半島地震支援で連携した日野自動車と、社員向け災害ボランティアコーディネーター研修を実施。

2) 大学との連携強化

①多摩地域の大学と地域によるネットワーク（ボラネット多摩）（1回）

②国際ボランティア学生協会（IVUSA）との協定に基づいた活動  
 令和3年3月に協定を締結。定例会を開催（11回）

③東京都立大学スポーツボランティアプログラムへの講師派遣（2回）

④明星大学人文学部ゲストスピーカー派遣（1回）

⑤東京都立大学都市政策科学科ゲストスピーカー派遣（1回）

3) 他団体との連携強化

①NPO法人フードバンクTAMAとの連携

社会福祉協議会と協働しているフードパントリー事業の箱詰め作業等のボランティア派遣調整及び作業の支援を行った。

（配布実績は、組織運営事業で報告）

②日野市セーフティネットコールセンター事業との連携

セーフティネットコールセンター就労支援準備事業と連携し、利用者がフードパントリー事業の箱詰め作業やボランティアセンターの軽作業等を行った。

③南多摩ブロックボランティア担当者会議

南多摩ブロック社会福祉協議会（日野市、八王子市、町田市、多摩市、稲城市）及び東京ボランティア・市民活動センターのボランティア担当者が集い、下記内容について話し合いや事業実施を行った。（8回）

内容
近況報告・能登半島地震の近況
夏ボラの近況報告

	<table border="1"> <tr> <td>社会福祉法人向け災害救助法 研修会開催</td> </tr> <tr> <td>各市ボランティアセンター実施事業の共有</td> </tr> <tr> <td>能登半島地震支援について各社協の取り組み ボランティアコーディネートについて情報交換</td> </tr> </table>	社会福祉法人向け災害救助法 研修会開催	各市ボランティアセンター実施事業の共有	能登半島地震支援について各社協の取り組み ボランティアコーディネートについて情報交換									
社会福祉法人向け災害救助法 研修会開催													
各市ボランティアセンター実施事業の共有													
能登半島地震支援について各社協の取り組み ボランティアコーディネートについて情報交換													
	<p>④ご近所会議 中央公民館、ひの児童館、ボランティアセンター、日野図書館と情報共有や地域連携を目的に定期的開催（12回）</p>												
内容	<b>3. ボランティア情報の発信</b>												
実績報告	<p>1) 情報紙「ボランティア・インフォメーション」を毎月3,500部発行 掲載内容：①ボランティア募集情報 ②市内のイベント・講座情報 ③市民活動団体の紹介 等 配布先：ボランティア登録者、公共施設、福祉施設、 図書館、飲食店、スーパー 等 配布方法：配布ボランティアによる戸別配布、郵送、交換便</p> <p>2) SNS（公式LINE、Facebook、X（旧Twitter））の運営 イベント開催時・フードドライブ品の寄付報告等を投稿している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>公式LINE</th> <th>Facebook</th> <th>X（旧Twitter）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>820人</td> <td>755人</td> <td>357人</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>568人</td> <td>715人</td> <td>290人</td> </tr> </tbody> </table>		公式LINE	Facebook	X（旧Twitter）	6年度	820人	755人	357人	5年度	568人	715人	290人
	公式LINE	Facebook	X（旧Twitter）										
6年度	820人	755人	357人										
5年度	568人	715人	290人										
内容	<b>4. 福祉体験講座</b>												
実績報告	<p>福祉や障害について理解を深めるため、当事者や福祉施設職員、ボランティアが協力し、講演や体験を通じた学習講座を実施した。</p> <p>【実施校】 第一小学校・豊田小学校・第八小学校・潤徳小学校・東光寺小学校 平山小学校・滝合小学校・南平小学校・夢が丘小学校・七生緑小学校 合計10校に対して福祉体験講座を実施。</p> <p>【内容】 当事者の講話・車椅子体験・ブラインドウォーク体験・手話体験等</p>												
内容	<b>5. 傾聴ボランティアの養成・活動支援</b>												
実績報告	<p>傾聴ボランティア養成講座の修了者を対象に、傾聴ボランティア同士の横の連携や、多面的な活動を展開していくことを目指し支援を行った。</p> <p>1) 情報交換会 傾聴ボランティア同士の交流やスキルアップのため、奇数月の第3金曜日に情報交換会を開催（6回）</p> <p>2) 居場所活動運営の支援 ひきこもりの方や生きづらさを感じる方のための居場所「ドレミの部屋」と、認知症の方とその家族、地域の高齢者のための居場所「茶屋よりそい」を支援した。</p> <p>【開催日】 ①ドレミの部屋 第2・4月曜日 14:00～16:00（祝日休み） ②茶屋よりそい 第1・3月曜日 14:00～16:00（祝日休み）</p>												
内容	<b>6. 夏の体験ボランティア</b>												
実績報告	1) 夏の体験ボランティア2024												

夏休み期間に福祉施設やボランティア・NPO団体でボランティア活動を体験できる毎年恒例のイベント。

【実施期間】7/20（土）～8/25（日）

【参加団体】56団体

【プログラム数】60種類

【活動者数】250人

【事前説明会】

内容	参加人数
明星大学にて大学生へ向けた説明会を実施 (ハ王子市・多摩市社会福祉協議会との合同開催)	約20人
実践女子大学の授業の1コマで夏ボラの説明会実施	約70人
説明会 (YouTube 開催)	1005回

【ボランティアセンター主催プログラム】

内容	参加人数
ウクレレ教室	5回 延べ29人
せせらぎ農園	3回 延べ12人
手話体験	1回 5人
中央図書館 (点字体験)	2回 延べ18人
特別企画「施設を彩る折り紙作品」を贈ろう	随時活動のため未集計

## 2) 夏の大学生ボランティアプログラム in イオンモール

大学生を対象にボランティアの機会の提供と夏休み期間中の子ども（主に小学生）のボランティア体験の場の提供をした。

開催日	内容	参加者
7/29～8/4	はらぺこあおむしづくり	17人
	MY 筆談ボードづくり	21人
	プラバンアクセサリーづくり	42人
	しんぶん紙エコバッグづくり (市民サポートセンター日野日野菜ママ)	36人
	ダンボールカスタネットづくり	24人
	切り抜きイラストでブレークシール作り&作ったシールでメッセージカードも作ろう!	50人
	中央大学カエルキャラバン	50人
8/1-8/18	東京都立大学いきものサークル 不思議な昆虫の展示会	随時活動のため未集計

内容

## 7. まちづくり人プロジェクト委員会の運営

ボランティア・市民活動を推進する事により、市民の一人ひとりが、くらしや生活の課題を自分事として考え行動し、共に豊かな地域社会を築くことを目的とした委員会。（平成30年度設立）

実績報告

1) 委員会の開催 (5回)

2) ヒューマンライブラリーの開催 (1回)

委員会目標である「多様性は力になる地域づくり」の実践の場として、ヒューマンライブラリー（人を本に見立てて貸し出す図書館）を開催した。

3) 委員 (順不同)

委員長 惟住浩太郎 氏 (日野掃除に学ぶ会世話人)  
 副委員長 粟澤稚富美 氏 (日野社会教育センター)  
 渡戸 一郎 氏 (明星大学名誉教授)  
 溝口 常之 氏 (一般市民)  
 大村佳代子 氏 (日野市民生・児童委員)  
 佐藤美千代 氏 (せせらぎ農園代表)  
 藤田 博文 氏 (CIL、障害者差別解消検討委員会委員長)  
 藤浪 里佳 氏 (NPO 法人子どもへのまなざし事務局長)  
 福村真紀子 氏 (多文化ひろばあいあい代表)  
 福原 冬彦 氏 (元日野市立豊田小学校教諭)  
 佐藤 新哉 氏 (東京ボランティア・市民活動センター)  
 景谷 弓子 氏 (地域サロン縁がわ)  
 浅沼 俊熙 氏 (日野市ボランティア・センター窓口相談員)  
 斉藤あきの 氏 (マイノリティサークル あるでばらん代表)  
 NPO 法人国際ボランティア学生協会 IVUSA  
 三好 毅 (日野市ボランティア・センター長)

内容

**8. スマートフォンボランティア活動支援**

実績報告

1) スマホお助け隊養成講座の開催

中央公民館が主催する「スマホお助け隊養成講座」について、実施回数が減少したことから講座内容の見直しを図り開催まで協力した。(3回)

内容	参加者数
・スマホの基本	8人
・分かりやすい伝え方	3人
	2人

2) スマホお助け隊コーディネート事業

地域支援係や中央公民館からのボランティア募集の要請を受け、スマホお助け隊との連絡調整を行った。

内訳	要請件数
地域主催のスマホ講座	128回
スマホ個別相談会	24回
スマホサロンぽちぽち	12回

3) スマホ個別相談会の開催

スマホお助け隊の活躍の場として、高齢者を対象としたスマートフォンのお悩み相談会を、市内3か所の会場で定期的で開催した。

実績

開催場所	開催数	参加者総数	協力者総数
中央福祉センター	12回	158人	116人
多摩平交流センター	6回	87人	53人
福祉支援センター	6回	78人	52人

4) スマホサロンぽちぽちの開催

スマホ超初心者向けのスマホ教室の開催、講師はスマホお助け隊を中心に実施。

	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ機種について</li> <li>・電話の掛け方</li> <li>・QRコードの読み込み方</li> <li>・カメラの使い方</li> <li>・物の調べ方</li> <li>・グーグルレンズの使い方</li> </ul>	開催回数	参加者	
		12回	各回 2～4人	
事業効果・評価 方向性等	<p>・ボランティア活動の量的拡大、支援の質向上、多様なネットワーク構築、情報発信強化、地域課題解決に貢献した。特に、ボランティア登録者数とコーディネート成立件数の増加は、市民意欲の高まりとセンターのコーディネート機能の向上を示した。</p> <p>・大学や他団体との連携強化、福祉体験講座、新たなボランティア層育成など、将来に向けた基盤も構築した。スマホお助け隊は新たなニーズに対応する先進的な取組みとなった。</p> <p>・全体として、日野市のボランティア・市民活動推進、多様性を活かした支え合いの環境づくりに大きく貢献できた。</p>			

事業名	<b>防災・減災をテーマにした地域づくり</b>												
事業形態	自主事業・受託事業（日野市）												
財源内訳	参加費、手数料、寄附金、歳末たすけあい募金配分金、繰入金、受託金												
担当係	ボランティア係												
地域福祉活動計画における視点	とものつくる												
目的	「災害に強いまち＝地域のつながりが強いまち」をテーマに市民と関係機関と共に防災・減災活動に取り組むことを目的とする。												
内容	<b>1. 日野市民でつくる防災・減災シンポジウム</b>												
	<p>1) 実行委員会の開催 市民有志とみんなでつくる日野の防災プロジェクト委員との実行委員会を開催した。場所：中央福祉センター</p> <p>①意見交換会（1回） ②実行委員会（8回）</p> <p>2) 「日野市民でつくる防災・減災シンポジウム」</p> <table border="1" data-bbox="434 1597 1396 1843"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被災地を身近に考える～現地からみる災害と自分たちのこれから～</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>教えて！あなたのコト～見た目では分からない要配慮者と共に～</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>災害トイレチャレンジ！～発災後のトイレを考える～</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>避難所で起こる「想定外」を「想定内」にするために！</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table>			内容	参加者	被災地を身近に考える～現地からみる災害と自分たちのこれから～	21人	教えて！あなたのコト～見た目では分からない要配慮者と共に～	23人	災害トイレチャレンジ！～発災後のトイレを考える～	40人	避難所で起こる「想定外」を「想定内」にするために！	19人
内容	参加者												
被災地を身近に考える～現地からみる災害と自分たちのこれから～	21人												
教えて！あなたのコト～見た目では分からない要配慮者と共に～	23人												
災害トイレチャレンジ！～発災後のトイレを考える～	40人												
避難所で起こる「想定外」を「想定内」にするために！	19人												
内容	<b>2. 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練</b>												
実績報告	災害時に迅速かつ円滑にボランティア受け入れを行うための準備や対応力を高めることを目的に、キントーンを使った受付システムの模擬訓練をIVUSAメンバーと実施。（参加者9人）												
内容	<b>3. 地域の防災・減災活動の支援</b>												

実績報告

自治会・自主防災組織等が行う地域の防災訓練や、学校等教育機関が行う防災教育の支援を行うことで、地域で暮らす市民同士の連携を深め、次代を担う子どもたちに知識を得てもらうことにより、災害に強い地域づくりを目指す。

1) つくしんぼ保育園 防災訓練（イザ！カエルキャラバン！）の実施支援（1回）

2) 小中学校での防災授業の企画実施支援  
小中学校で開催される授業において企画の支援を行った。（5回）

内容
被災者の語り部 東日本大震災の被災講話（小山菜 氏）

3) 市内小学校地域防災会支援  
地域住民が中心となって避難所運営マニュアルを作成し、市民同士の連携を深める防災会の支援を行った。

夢が丘小防災会（5回）
四小地域防災会（5回）
豊田小地域防災会（5回）
滝合小地域防災会（3回）
五小地域防災会（4回）
潤徳小地域防災会（4回）
平山小地域防災会立上げ準備（2回）
旭が丘小地域防災会立上げ準備（1回）

4) 各種機関等への防災プログラム実施支援

①日野自動車災害ボランティアコーディネーター研修

日野自動車と社員を対象とした災害ボランティアコーディネーター研修のプログラム企画から実施まで行った。

内容
能登半島地震活動報告 復旧・復興における（地元）企業のカ等
災害ボランティアとは、能登半島地震の石川県志賀町の事例報告、災害ボランティアセンターの役割等
災害ボランティアセンター・災害ボランティアコーディネーターとは、平時の防災・減災の取組事例等

②学校等

内容	主催
イザ！カエルキャラバン！	日野一小ダンディKai
災害ってなんだろう 台風19号で避難所運営をした方からのお話 被災地の方のお話 ゲスト：志賀町社会福祉協議会職員	日野第三小学校 五年生
災害ってなんだろう 台風19号で避難所運営をした方からのお話 被災するってどんなこと ゲスト：日野自動車社員	日野第七小学校 六年生
災害図上訓練DIG 協力：日野自動車社員	

	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">         避難所運営ゲームHUG実施          協力：日野自動車社員       </div> <p>5) 防災普及活動業務委託事業の実施          市内の各種機関等への防災訓練等を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">内容</th> <th style="width: 50%;">主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>避難所運営 ペット防災スターキット訓練</td> <td>豊田小地域防災会</td> </tr> </tbody> </table>	内容	主催	避難所運営 ペット防災スターキット訓練	豊田小地域防災会
内容	主催				
避難所運営 ペット防災スターキット訓練	豊田小地域防災会				
内容	<b>4 . 令和6年能登半島被災地支援活動</b>				
事業報告	<p>令和6年1月1日に起きた能登半島地震に対しての支援活動として能登半島に職員2人を派遣し、寄附品や活動資機材を提供するとともに志賀町災害ボランティア・センターや輪島市の焼失した朝市等、被災地の視察を行った。</p> <p>1) 現地支援・視察 4/10 (水) ～4/12 (金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県穴水町にある東京ボランティア・市民活動センターの活動拠点へ活動資機材を提供。</li> <li>・志賀町社会福祉協議会へ資機材を提供、LOVE EASTの活動に同行し、ブロック塀の撤去や建築資材の搬入等の復興支援に従事。</li> <li>・輪島市を訪問、焼失した朝市等を視察。</li> </ul> <p>2) 被災地支援団体 LOVEEASTを通じて支援物資の供給</p> <p>2/4 (日) LOVEEASTへ食料提供・活動資機材の貸出し          2/25 (日) LOVEEASTへ食料・日用雑貨等提供          12/22 (日)～23 (月) 志賀町社会福祉協議会へクリスマスギフト輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民からの寄付を募り、志賀町社会福祉協議会を志賀町仮設住宅約500世帯へクリスマスギフトを贈呈。</li> <li>・仮設住宅サロン支援のため、コーヒーマーカー等をLOVEEASTへ寄贈。</li> </ul>				
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災力向上に向けた多角的な取組を継続的に展開しており、市民、企業、教育機関、関係団体との連携強化に成功している。</li> <li>・市民の参画意識の高まりと地域ネットワークの実効性の向上が確認され、災害に強いまちづくりの着実な推進が図られている。</li> </ul>				

事業名	<b>日野市介護サポーター制度</b>
事業形態	受託事業 (日野市)
財源内訳	受託金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ
目的	日野市内在住の65歳以上の方を対象に、介護保険施設等でのボランティア活動を通じ、介護予防についての理解を深めていただくこと、積極的な社会参加や地域貢献を行うことにより、いつまでも元気な高齢者を目指していただくことを目的とする。
内容	<b>1. 介護サポーター制度の運営・相談支援</b>
実績報告	日野市在住の65歳以上の方を対象に、介護保険施設等で市民として利用者に関わる活動を通じて介護予防についての理解を深めるとともに、積極的な社会参加や地域貢献を行うことによりいつまでも元気な高齢者を目指

	<p>して実施した。</p> <p>1) 内容</p> <p>① 介護サポーター制度の説明及び登録手続きを行う。</p> <p>② 登録者の希望に応じて、適切な活動先を紹介する。</p> <p>③ 介護サポーター制度の周知を目的とした広報活動を行う。</p> <p>④ 介護サポーター制度に関する説明会を開催する。</p> <p>⑤ 介護サポーター制度の事務管理を行う。 (登録者情報の管理、スタンプ帳の交付、交付金の請求手続き等)</p> <p>⑥ 介護サポーター向け講座・研修会等を開催し、登録者の介護予防とボランティア活動のスキルアップを図る。</p> <p>2) 人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録者数</th> <th>新規登録者数</th> <th>登録取消者数</th> <th>累計登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>368人</td> <td>18人</td> <td>47人</td> <td>723人</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>357人</td> <td>11人</td> <td>47人</td> <td>696人</td> </tr> </tbody> </table>		登録者数	新規登録者数	登録取消者数	累計登録者数	6年度	368人	18人	47人	723人	5年度	357人	11人	47人	696人
	登録者数	新規登録者数	登録取消者数	累計登録者数												
6年度	368人	18人	47人	723人												
5年度	357人	11人	47人	696人												
内容	<b>2. ボランティア活動対象施設の管理・連絡調整</b>															
実績報告	<p>本制度登録施設及び登録を希望する施設との連絡調整を適宜行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録施設数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>64 施設</td> </tr> <tr> <td>6年度</td> <td>64 施設</td> </tr> </tbody> </table>		登録施設数	5年度	64 施設	6年度	64 施設									
	登録施設数															
5年度	64 施設															
6年度	64 施設															
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防の理解促進と社会参加の機会提供において一定の効果を上げている。</li> <li>・登録者数は増加傾向にあり、制度は安定的に運用されている。</li> <li>・施設との連携も良好で、今後も継続的な広報と支援が重要である。</li> </ul>															

事業名	<b>日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know!(ひのう)」</b>
事業形態	補助事業(日野市)
財源内訳	補助金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	市内のイベント、団体・サークル活動等を紹介するポータルサイトを展開し、“新たな発見”“人との出会い”“地域とのつながり”“夢の実現”等のきっかけづくりのため、様々な団体・グループ等とともに市民目線で情報発信を行うことを目的とする。
内容	<b>1. ポータルサイト「Hi Know!」の運営</b>
実績報告	<p>「Hi Know!」は、社会貢献活動として富士通研究所(株)が開発した「日野市を社会参加しやすいまちにすること」を目的に実施するWEBサイト。日野市ボランティア・センターが日野市や関係事業者と連携し事務局を担当し、平成27年度から日野市の補助事業となる。</p> <p>1) 「Hi Know!」閲覧数(令和6年4月1日～令和7年3月31日) アクセス数 33,669回 ページビュー(閲覧数) 102,720回</p> <p>2) 登録団体数 293団体(令和6年度新規登録団体 12団体)</p> <p>3) 登録講師数 49人(令和6年度新規登録講師 0人)</p>

	<p>4) 子どもの居場所マップ 登録団体 11 団体 活動箇所 20 か所 総閲覧数 21,174 回</p> <p>5) 広報活動 ・公民館・・・・・・・・登録団体への周知 ・生涯学習課・・・・・・・・サークル団体・施設ガイド団体への周知 ・ボランティア①インフォメーション（毎月掲載）3,500 部</p> <p>6) まち記者の養成・活動支援 まち記者の活動支援（まち記者登録者数 73 人）</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント掲載やカレンダー活用増、子ども食堂ボランティアの問合せが増えたことから一定の効果あり。</li> <li>・市民の情報発信基盤として定着、地域活動の可視化と参加促進に寄与した。</li> </ul>

## 助成事業

事業名	<b>歳末たすけあい地域福祉活動助成</b>	
事業形態	歳末たすけあい募金配分金事業	
財源内訳	歳末たすけあい配分金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画 における視点	ともにつくる	
目的	歳末たすけあい募金を原資とした助成金を、障害者団体や当事者団体等に交付し、地域福祉活動の推進を図る。	
内容	<b>助成対象団体への助成</b>	
実績報告	助成金決定・交付 申請団体に対し、助成金の決定及び交付	
	7年度（6年度申請）	18団体 1,050,000円
	6年度（5年度申請）	17団体 1,050,000円
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己財源が乏しい当事者団体やボランティアグループ等に助成することで、団体が広く市民に向けて実施する活動の一助となった。</li> <li>・いくつかの団体の共通の課題として、役員の高齢化や担い手不足により事務の滞りなど運営に影響があった様子が見受けられた。助成金の交付以外のニーズとして運営支援も考えられる。</li> </ul>	

事業名	<b>地域支え合い福祉活動助成</b>	
事業形態	自主事業	
財源内訳	会費、歳末たすけあい募金小地域福祉活動費	
担当係	地域支援係	
地域福祉活動計画 における視点	ともにつくる	
目的	地域で当事者や住民同士の仲間づくり、情報交換といった居場所づくりを行っている地域交流サロン等の非営利団体等に、会費を原資とした助成金を交付し、住民主体の地域福祉活動の活性化を図る。	

内 容	<b>地域支え合い活動団体への助成</b>	
実績報告	1) 助成金決定・交付 申請団体に対し、助成金の決定及び交付	
	6年度	34 団体 890,000 円
	5年度	33 団体 880,000 円
内 容	<b>2. 地区社協助成</b>	
実績報告	南平地区社協 150,000 円	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体の総事業費と繰越金の比率を計算し、50%以上ある団体については50%を上回る比率を申請額より差し引き、決定した。</li> <li>サロンの形態が多様化しており、助成金の配分額と合わせて対象となるサロン団体についても検討する必要がある。</li> <li>今後も原資となる会費収入の落ち込みや助成団体の余剰金等を考察し、今後の助成金のあり方について会費を担当している総務係を含めて検討する必要がある。</li> <li>南平地区社会福祉協議会では、「ちょこっとお助け隊」や「ぷらっとカフェ（サロン）」を通じて高齢者の生活・居場所支援を行ったほか、今後子どもの支援として「子どもの食堂」開設を目指し、継続的に話し合いを進めている。</li> </ul>	

## 生活福祉資金貸付事業

事業名	<b>生活福祉資金貸付事業</b>						
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）						
財源内訳	受託金						
担当係	総務係						
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる						
目 的	低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯に対し、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、必要な相談援助と資金の貸付を行う。 日野市や民生委員等の関係機関と連携しながら制度の周知を図るとともに、きめ細やかな相談事業を実施し利用者との信頼関係を築く。 償還完了までの支援が継続できるよう関係機関と連携していく。						
内 容	<b>1. 相談支援</b>						
実績報告	1) 相談実績（電話・来所） ※緊急小口資金等特例貸付の借受人へのフォローアップ支援事業に関する相談含む。						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>1,481件</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>1,208件</td> </tr> </tbody> </table>		件数	6年度	1,481件	5年度
	件数						
6年度	1,481件						
5年度	1,208件						
	2) 関係機関との連携						
	①民生委員向け研修の実施						
	内容	参加者					

	テーマ 「民生委員・児童委員と社会福祉協議会の関わり」 会 場 日野市役所101会議室	23人																																												
	内容 東京都社会福祉協議会主催の民生委員研修会 「民生委員・児童委員 生活福祉資金研修会」 会 場 中野 ZERO ホール	14人																																												
	②日野市役所との連携 日野市セーフティネットコールセンターや生活福祉課等の関係部署とは、日頃から電話等によるスムーズな情報交換や情報の共有が図れた。 ③中学校校長会との連携 日野市教育委員会の中学校校長会に参加して下記の内容を説明した。 テーマ「教育支援資金の予約申込について」																																													
	3) 職員の資質向上のための研修等への参加 <table border="1" data-bbox="448 741 1289 1106"> <tr> <th colspan="2">内容</th> </tr> <tr> <td>新任職員研修</td> <td>基本研修編・貸付共通編</td> </tr> <tr> <td>新任職員研修</td> <td>相談研修基本編</td> </tr> <tr> <td>新任職員研修</td> <td>特例貸付編</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コロナ特例貸付事務説明会</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活福祉資金貸付事業説明会</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活福祉資金実務研修会</td> </tr> <tr> <td colspan="2">教育支援資金の運用及び日本学生支援機構の奨学金について</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※新任職員研修は、上記の他に動画視聴型研修にも参加した。</td> </tr> </table>		内容		新任職員研修	基本研修編・貸付共通編	新任職員研修	相談研修基本編	新任職員研修	特例貸付編	コロナ特例貸付事務説明会		生活福祉資金貸付事業説明会		生活福祉資金実務研修会		教育支援資金の運用及び日本学生支援機構の奨学金について		※新任職員研修は、上記の他に動画視聴型研修にも参加した。																											
内容																																														
新任職員研修	基本研修編・貸付共通編																																													
新任職員研修	相談研修基本編																																													
新任職員研修	特例貸付編																																													
コロナ特例貸付事務説明会																																														
生活福祉資金貸付事業説明会																																														
生活福祉資金実務研修会																																														
教育支援資金の運用及び日本学生支援機構の奨学金について																																														
※新任職員研修は、上記の他に動画視聴型研修にも参加した。																																														
内 容	<b>2. 貸付及び償還事務手続き</b>																																													
実績報告	1) 貸付実績 <table border="1" data-bbox="448 1256 1426 1711"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>貸付件数</th> <th>貸付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉資金 (福祉費)</td> <td>生活保護受給世帯の生活必需品等の購入に必要な費用</td> <td>5件</td> <td>376,000円</td> </tr> <tr> <td>教育支援資金</td> <td></td> <td>15件</td> <td>20,098,500円</td> </tr> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td></td> <td>1件</td> <td>97,000円</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金</td> <td></td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不動産担保型</td> <td>不動産担保型</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>要保護世帯向け不動産担保型</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>6年度</td> <td></td> <td>21件</td> <td>20,574,500円</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td></td> <td>21件</td> <td>21,623,500円</td> </tr> </tbody> </table> 2) 償還事務手続き 借受人世帯の安定や自立促進のために、償還猶予や延滞利子免除の相談・手続きを行った。また、償還が見込めない世帯で要件を満たしている場合、償還免除の相談・手続きを行った。 <table border="1" data-bbox="448 1899 1426 2072"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>償還猶予</td> <td>4件</td> <td>・病気療養のため (1件) ・上級学校へ進学するため (3件)</td> </tr> <tr> <td>延滞利子免除</td> <td>0件</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				貸付件数	貸付金額	福祉資金 (福祉費)	生活保護受給世帯の生活必需品等の購入に必要な費用	5件	376,000円	教育支援資金		15件	20,098,500円	緊急小口資金		1件	97,000円	総合支援資金		0件	0円	不動産担保型	不動産担保型	0件	0円	要保護世帯向け不動産担保型	0件	0円	6年度		21件	20,574,500円	5年度		21件	21,623,500円		件数	理由	償還猶予	4件	・病気療養のため (1件) ・上級学校へ進学するため (3件)	延滞利子免除	0件	-
		貸付件数	貸付金額																																											
福祉資金 (福祉費)	生活保護受給世帯の生活必需品等の購入に必要な費用	5件	376,000円																																											
教育支援資金		15件	20,098,500円																																											
緊急小口資金		1件	97,000円																																											
総合支援資金		0件	0円																																											
不動産担保型	不動産担保型	0件	0円																																											
	要保護世帯向け不動産担保型	0件	0円																																											
6年度		21件	20,574,500円																																											
5年度		21件	21,623,500円																																											
	件数	理由																																												
償還猶予	4件	・病気療養のため (1件) ・上級学校へ進学するため (3件)																																												
延滞利子免除	0件	-																																												

	償還免除	0件	-			
	3) その他手続き					
		件数	理由			
	行方不明届	1件	総合支援資金借受人に対するもの(3回目)			
	事務移管	1件	教育支援資金借受人及び連帯借受人が日野市から杉並区へ転居したことによるもの			
	死亡届	2件	教育支援資金連帯保証人が死亡したことによるもの 福祉資金の借受人が死亡したことによるもの			
	4) 総合支援資金の支援活動					
	平成21年10月に創設された離職者を対象とした制度で、借受人は資金の借入と共に継続的な相談支援を受けることが条件となっている。月1回の面接時に就職活動の報告を受け、早期就労を目指した支援を行っている。					
	①相談実績(再掲) 1件					
	②資金開始時からの借受人総数 44人 (内訳)					
	支援終了者	29人	・資金完済者 21人 ・債務整理者 4人 ・借受人死亡 1人 ・東京都社会福祉協議会へ事務移管 3人			
	現在の借受人	15人	・生保受給者 2人 ・債務整理中 1人 ・就職 12人(就職率 80.0%)			
内容	<b>3. 日野市生活福祉資金貸付事業(平成21年度終了事業/償還業務のみ)</b>					
実績報告	償還状況					
		件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額
	6年度	10件	9人	492,000円	37,000円	0円
5年度	11件	10人	529,000円	0円	0円	
	・令和6年度下半期1名の借受人が特養施設に入所し、施設のソーシャルワーカーより償還の連絡があり完了となった。					
事業効果・評価 方向性等	<p>・5年度より相談件数が増加したのは償還に関するものによる。6年度よりコロナ特例貸付の償還に関する償還猶予の相談や申請、償還猶予後の免除申請等の件数が増えてきたためである。この傾向は今後も継続すると思われる。</p> <p>・教育支援資金に関しては、生活保護を受給している母子世帯からの申請件数が増えてきた。民生委員にも世帯を訪問した際、該当しそうな世帯があった場合に案内していただくよう協力を依頼した。</p> <p>・教育支援資金について、今年度初めて中学校校長会で説明したが、今後も機会を作っていきたい。</p> <p>・借受人には定期的に督促の郵送物を送付し、居住確認を行うと共に償還活動を継続していく。</p>					

事業名	<b>ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業</b>
事業形態	受託事業(東京都社会福祉協議会)
財源内訳	受託金
担当係	総務係

地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる												
目的	東京都内において、高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、高等職業訓練促進資金を貸し付け、修学を容易にすることにより、資格取得を促進し、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的とする。												
内容	<b>相談支援および貸付申請事務手続き</b>												
実績報告	<p>①就職に有利な資格を取得するための入学準備金 ②一定期間の研修が修了し、就職するための就職準備金</p> <p>養成機関を修了し、かつ資格取得した日から1年以内に就職し、東京都内で取得した資格が必要な業務に従事し、5年間就業継続をした場合には、申請により返済が免除される</p> <p>1) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談人数</th> <th>貸付件数</th> <th>取扱金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>1人</td> <td>1件</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>1人</td> <td>1件</td> <td>500,000円</td> </tr> </tbody> </table>		相談人数	貸付件数	取扱金額	6年度	1人	1件	500,000円	5年度	1人	1件	500,000円
	相談人数	貸付件数	取扱金額										
6年度	1人	1件	500,000円										
5年度	1人	1件	500,000円										
事業効果・評価 方向性等	・ひとり親家庭高等職業訓練のプラン策定や制度説明は日野市セーフティネットコールセンターが担うことになっているが、社協でも同様に対応し情報交換・共有を行い、相談があった際は緊密に連携を図っていく。												

事業名	<b>緊急小口資金等特例貸付の借受人へのフォローアップ支援事業</b>															
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）															
財源内訳	受託金															
担当係	総務係															
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる															
目的	新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付は、令和2年3月25日から開始され令和4年9月末日をもって申請受付を終了した。この貸付の借受人で、生活に困窮し、生活再建のために支援が必要な借受人に対し、適切なフォローアップ支援を行う。															
内容	<b>相談支援</b>															
実績報告	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付</p> <p><b>【日野市における貸付件数と貸付金額】</b></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td>1815件</td> <td>357,070,000円</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金 初回</td> <td>1340件</td> <td>693,140,000円</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金 延長</td> <td>666件</td> <td>347,900,000円</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金 再貸付</td> <td>892件</td> <td>468,800,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4713件</td> <td>1,866,910,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 上記件数・金額は、日野市で貸付した件数・金額。</p> <p>1) 償還困難者へのフォローアップ支援 東京都社会福祉協議会「緊急小口資金等特例貸付の借受人へのフォローアップ支援事業実施要綱」に基づき、下記の基本事業に取り組んだ。 ①償還猶予に係る相談の受付</p>	緊急小口資金	1815件	357,070,000円	総合支援資金 初回	1340件	693,140,000円	総合支援資金 延長	666件	347,900,000円	総合支援資金 再貸付	892件	468,800,000円	合計	4713件	1,866,910,000円
緊急小口資金	1815件	357,070,000円														
総合支援資金 初回	1340件	693,140,000円														
総合支援資金 延長	666件	347,900,000円														
総合支援資金 再貸付	892件	468,800,000円														
合計	4713件	1,866,910,000円														

	<p>②償還猶予申請における調査意見書の提出  ③償還猶予中の生活状況の把握、見守り支援  ④見守り支援等を踏まえた償還猶予期間終了時における調査意見書の提出  ⑤償還猶予に係る自立相談支援機関との連携</p> <p>2) 関係機関と連携・調整を図りながら適切な相談支援の実施  セーフティネットコールセンター等の関係機関と連携を図り、相談支援に取り組んだ。</p> <p>3) 緊急小口資金/総合支援資金 初回・延長・再貸付の償還  令和5年1月よりスタート。借受人からの相談を受け付けながら、生活状況によって「償還免除」、「任意免除」、「償還猶予」、「償還猶予後の免除」等につなげた。</p> <p>①償還免除件数</p> <table border="1" data-bbox="459 663 1190 853"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>累計件数合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td>34件</td> <td>730件</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金 初回・延長</td> <td>316件</td> <td>1,119件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>350件</td> <td>1,849件</td> </tr> </tbody> </table> <p>②償還猶予件数</p> <table border="1" data-bbox="459 891 1295 1081"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>累計件数合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td>25件</td> <td>48件</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金 初回・延長・再貸付</td> <td>52件</td> <td>69件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>77件</td> <td>117件</td> </tr> </tbody> </table> <p>③償還猶予後の免除件数</p> <table border="1" data-bbox="459 1120 1295 1310"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>累計件数合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td>19件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金 初回・延長・再貸付</td> <td>40件</td> <td>43件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>59件</td> <td>65件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記①から③は東京都社会福祉協議会からの報告に基づく。  ※日野市外から日野市に転入した借受人については、東京都社会福祉協議会から連絡はあるが、日野市からの転出者に関しては連絡がないため、日野市で貸付けた総件数4,713件に関しては変動しているため、正確な件数は把握することはできない。</p>		件数	累計件数合計	緊急小口資金	34件	730件	総合支援資金 初回・延長	316件	1,119件	合計	350件	1,849件		件数	累計件数合計	緊急小口資金	25件	48件	総合支援資金 初回・延長・再貸付	52件	69件	合計	77件	117件		件数	累計件数合計	緊急小口資金	19件	22件	総合支援資金 初回・延長・再貸付	40件	43件	合計	59件	65件
	件数	累計件数合計																																			
緊急小口資金	34件	730件																																			
総合支援資金 初回・延長	316件	1,119件																																			
合計	350件	1,849件																																			
	件数	累計件数合計																																			
緊急小口資金	25件	48件																																			
総合支援資金 初回・延長・再貸付	52件	69件																																			
合計	77件	117件																																			
	件数	累計件数合計																																			
緊急小口資金	19件	22件																																			
総合支援資金 初回・延長・再貸付	40件	43件																																			
合計	59件	65件																																			
事業効果・評価方向性等	<p>・転入してきた借受人とは面識がないため、償還に関する相談があった際は世帯の現状を詳しく聞き取りし、どのような支援が適切かを判断しながら出来るだけ支援していくことが当会の役割だと考えている。</p>																																				

## 福祉サービス利用援助事業

事業名	<b>地域福祉権利擁護事業</b>
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）
財源内訳	受託金、利用料、利息
担当係	権利擁護係
地域福祉活動計画	ともにみまもる

における視点																																		
目 的	認知症や障害により判断能力が十分でない方が、地域で安心して暮らしていくことをサポートする。																																	
内 容	<b>地域福祉権利擁護事業</b>																																	
実績報告	<p>1) 地域福祉権利擁護事業利用状況</p> <p>認知症・知的障害・精神障害等により、必要な福祉サービスを自分で適切に選択・利用することや、日常的な金銭管理が不安な方に対し、福祉サービスの利用援助・日常金銭管理・書類等預かりサービスによる支援を行った。</p> <p>また、東京都社会福祉協議会の定める標準利用料の改定に合わせ、令和6年6月1日から料金を改定した。</p> <p>①令和6年度相談件数及び3月末契約件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談・支援</th> <th>新規契約</th> <th>終了(解約)</th> <th>契約件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>4,189件</td> <td>25件</td> <td>18件</td> <td>81件</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>3,583件</td> <td>19件</td> <td>21件</td> <td>74件</td> </tr> </tbody> </table> <p>②3月末契約者内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>認知症 高齢者</th> <th>知的 障害者</th> <th>精神 障害者</th> <th>その他・ 不明</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>51人</td> <td>14人</td> <td>10人</td> <td>6人</td> <td>81人</td> </tr> <tr> <td>内生活保護 受給者数</td> <td>19人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table>		相談・支援	新規契約	終了(解約)	契約件数	6年度	4,189件	25件	18件	81件	5年度	3,583件	19件	21件	74件		認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他・ 不明	合計	総数	51人	14人	10人	6人	81人	内生活保護 受給者数	19人	0人	6人	6人	31人
		相談・支援	新規契約	終了(解約)	契約件数																													
	6年度	4,189件	25件	18件	81件																													
	5年度	3,583件	19件	21件	74件																													
		認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他・ 不明	合計																												
	総数	51人	14人	10人	6人	81人																												
	内生活保護 受給者数	19人	0人	6人	6人	31人																												
	2) 生活支援員連絡会（年3回実施 会場は福祉支援センター）																																	
	<p>3月末時点で生活支援員数は26名。</p> <p>事務連絡、活動状況報告の他、利用者の支援にあたる生活支援員からの状況報告を受け、情報交換を行った。なお、2回目は、研修として、認知症サポーター養成講座を行った。</p> <p>参加者：①11人、②11人、③10人</p>																																	
	3) 生活支援員の募集																																	
<p>家庭の事情等で退職する支援員が数人いたため、募集をした。</p> <p>1. 「広報ひの」及び「ひの社協だより」で呼びかけ</p> <p>2. 生活支援員募集説明会 参加者：4人（うち3人が登録）</p>																																		
4) 東社協主催の関係会議への参加（4回）																																		
5) 担当者の資質向上のための研修等参加																																		
<p>①地域福祉権利擁護事業担当専門員向け研修（6回）</p> <p>②支援員向け研修（2回、計14名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東社協生活支援員研修の参加呼びかけ、および、内部研修の実施。</li> </ul>																																		
6) 地域福祉権利擁護事業のPR																																		
<p>①北部地区民生委員協議会で事業説明</p> <p>②包括たかはた圏域研修会</p> <p>③日野市認知症施策推進会議・多職種連携研修</p>																																		

	<p>④日野市民生委員協議会高齢者部会の講師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひの社協だより」(252号)への掲載</li> </ul> <p>7) 権利擁護センター運営委員会(4回)</p> <p>弁護士、司法書士、社会福祉士、精神科医、地域包括支援センター、障害者支援施設、行政で構成、市民後見人推薦依頼の検討等を行った。</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度に入り新規の相談が増えており、周知が進んでいると思われる。必ずしも全員が地域福祉権利擁護事業の利用には結びつかないものの、契約件数も昨年より増えている。</li> <li>・引き続き、生活支援員の募集をおこない、支援体制の拡充を図りたい。</li> </ul>

事業名	<b>財産保全・管理サービス</b>				
事業形態	自主事業				
財源内訳	利用料				
担当係	権利擁護係				
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる				
目的	判断能力に支障はないが病弱・虚弱、障害等で日常生活が困難な方が地域で安心して暮らしていくことをサポートする。				
内容	<b>財産保全・管理サービスの実施</b>				
実績報告	身体障害や病弱・高齢等により外出が困難な方に対し、預貯金の出し入れや日常生活に必要な各種手続き代行、書類預かりサービスを提供した。				
		相談・援助	新規契約	終了(解約)	契約件数
	6年度	12件	0件	2件	0件
5年度	9件	0件	0件	2件	
事業効果・評価 方向性等	・年度中解約により、現在は利用者がいない状況。今後も相談があれば対応する。				

事業名	<b>応急日常金銭管理サービス</b>				
事業形態	自主事業				
財源内訳	利用料				
担当係	権利擁護係				
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる				
目的	認知症や障害により判断能力に支障がある方が制度の狭間で困難に陥ることなく、地域で安心して暮らしていくことをサポートする。				
内容	<b>応急日常金銭管理サービスの実施</b>				
実績報告	成年後見制度の申立から審判が下りるまでの間の応急支援として、行政からの依頼を受け、地域福祉権利擁護事業と同様のサービスを実施した。				
	6年度	相談・支援	25件		
	5年度	相談・支援	157件		
事業効果・評価 方向性等	・制度的に整っているものではないため、積極的なPRはしていない。今年度新規での利用はない状況。				

事業名	<b>成年後見制度利用促進事業</b>					
事業形態	受託事業（日野市）					
財源内訳	受託金・利用料					
担当係	権利擁護係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	成年後見制度を始めとする権利擁護支援について、市民・関係機関等の相談援助をおこなうとともに、専門職・関係機関等とのネットワークを構築することで、制度の利用促進をおこなう。					
内容	<b>1. 成年後見制度における相談・支援の充実</b>					
実績報告	<p>成年後見制度利用促進の中核機関として、成年後見制度が必要な方の利用を支援するための業務の中で、特に、後見人就任のためのマッチング、更に就任後の支援を行う。また、一連の流れの中で、一次相談の窓口としての役割、また、広報・啓発、市内の関係機関のネットワークづくり等に力を入れていく。</p> <p>1) 成年後見制度の申立が必要な市民の相談に応じ、後見制度の内容、手続き等の説明を行った。</p> <p>2) 必要に応じて弁護士や司法書士、社会福祉士等の専門職を紹介し、後見人等候補者のマッチングの支援を行った。</p> <p>3) 後見が必要な状態にもかかわらず、経済的理由や親族がない等の理由で申し立てが滞っている場合には、行政をはじめとした関係機関のネットワークにより、市長申立や多摩南部成年後見センターの利用も視野に入れた総合的な支援を実施した。</p> <p>4) 後見人に就任している親族や専門職後見人等から、被後見人の福祉サービスの利用や地域生活課題についての相談を受け、必要な情報提供や支援を行った。</p> <p>1) ～ 4) 合計の相談・支援対応数</p> <table border="1"> <tr> <td>6年度</td> <td>383件</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>429件</td> </tr> </table> <p>5) 権利擁護アドバイザー会議の実施（9回） 本人にふさわしい権利擁護について検討するための「検討・支援会議」を「権利擁護アドバイザー会議」とし、毎月1回第2金曜に定例で実施した。6、9、12、3月については、権利擁護センター日野の運営委員会に合わせて実施した。アドバイザーには医師、弁護士、司法書士、社会福祉士、地域包括支援センター、障害の計画相談事業所から委員をお願いし、様々なアドバイスをいただいている。 検討ケース：14件</p> <p>6) 権利擁護センター日野の運営委員会の実施（4回）</p> <p>7) 申立支援、後見人候補者との調整及び選任後の定期支援 ①後見人候補者の紹介・マッチング・後見方針の作成 19件 ②上記のうち権利擁護アドバイザー会議での検討件数 8件</p>		6年度	383件	5年度	429件
	6年度	383件				
5年度	429件					

	<p>8) 成年後見制度利用促進のためのPR</p> <p>①権利擁護センター日野 パンフレット配布</p> <p>②市内障害グループホーム職員・管理者向け内部研修会</p> <p>③日野市認知症施策推進会議・多職種連携研修</p> <p>④日野市民生委員協議会高齢者部会の講師</p> <p>⑤「ひの社協だより」(250号、252号)への掲載</p>															
内 容	<b>2. 親族後見人及び市民後見人等のサポート</b>															
実績報告	<p>1) 「成年後見制度説明会」の開催準備 毎年開催している、行政(福祉政策課・高齢福祉課・障害福祉課)、多摩南部成年後見センターと共催の市民向け制度説明会を実施した。 今年度も、社協が担当する内容を、「後見人の仕事実践編～親族・市民後見人向け実践学習会及び交流会」として実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>「障害のある子の『親なきあと』～『親あるあいた』」</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>「この先の人生に備えて～遺言と任意後見～」</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>「成年後見制度の概要と家族信託、遺言・相続等について」</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>「後見人の仕事実践編～親族・市民後見人向け学習会&amp;交流会」</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※④以外は講座終了後に相談会を実施</p> <p>2) 市民後見人の活躍支援 後見人候補者として登録している方に、地域福祉権利擁護事業生活支援員として当事者支援の経験を重ねながら、「市民後見人」就任要請を受けた時に候補者推薦ができる体制を継続している。 市民後見人候補者登録数：9人</p>		内容	参加者	①	「障害のある子の『親なきあと』～『親あるあいた』」	32人	②	「この先の人生に備えて～遺言と任意後見～」	38人	③	「成年後見制度の概要と家族信託、遺言・相続等について」	40人	④	「後見人の仕事実践編～親族・市民後見人向け学習会&交流会」	8人
	内容	参加者														
①	「障害のある子の『親なきあと』～『親あるあいた』」	32人														
②	「この先の人生に備えて～遺言と任意後見～」	38人														
③	「成年後見制度の概要と家族信託、遺言・相続等について」	40人														
④	「後見人の仕事実践編～親族・市民後見人向け学習会&交流会」	8人														
内 容	<b>3. 他機関との連携強化</b>															
実績報告	<p>1) 成年後見制度関係機関ネットワーク会議(年1回開催) 内容 「公証人から学ぶ任意後見制度と関連諸契約」 参加者 40人</p> <p>2) 関係機関(東京都、東社協、弁護士会など)の連絡会への参加(16回)</p>															
内 容	<b>4. 法人後見実施機関への活動支援</b>															
実績報告	<p>多摩南部成年後見センターをはじめとした、市内・近隣の法人後見実施団体と、必要に応じて候補者受任の相談や情報共有、ネットワーク会議への参加呼びかけ等、連携を取った。 法人後見実施団体受任者調整：1件</p>															
内 容	<b>5. 後見監督の実施(自主事業)</b>															
実績報告	<p>身寄りがなく、セーフティネットの利用対象にならない方に市民後見人等が就任することにより、被後見人等にとって意思が尊重される生活を送ることに寄与した。 当会の市民後見人等候補者の中から受任した市民後見人等に対し、当会で後見監督を受任した。 市民後見人単独受任ケースについて、中核機関としてフォローする体制をとることができた。</p> <p>1) 市民後見人の受任状況 市民後見人受任件数：4件(うち年度末受任件数：2件)</p>															

	後見監督人受任件数：3件（うち年度末受任件数：2件） 2) 法人後見基礎研修への参加（2回） 将来を見据えて担当職員が研修に参加した。
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民・関係機関に成年後見制度の相談機関（中核機関）として認知され始め、相談支援も継続的にこなしている。</li> <li>・地域関係ネットワークの一環でおこなっている、権利擁護アドバイザー会議も、おおむね軌道に乗り、相談者のニーズに応えられるようになっていく。</li> </ul>

## 福祉人材育成事業

事業名	<b>手話講習会事業</b>						
事業形態	受託事業（日野市）						
財源内訳	受託金						
担当係	総務係						
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ						
目的	手話言語および手話表現技術、聴覚障害（者）に関する基本的な知識を習得することを目指す。健聴者と聴覚障害者との相互理解を深め、手話全般に関する啓発および普及を図る。 また、将来に亘り日野市登録手話通訳者を増やす。						
内容	<b>1. 手話講習会の実施</b>						
実績報告	厚生労働省「手話奉仕員」「手話通訳者」養成カリキュラムに基づき、手話講習会を開催する。講習の中でコース・クラス別で手話通訳者や当事者による講演会等を実施する。						
	1) 開催期間						
	5/15（水）～3/19（水）						
	2) 内容						
		コース	クラス	定員	申込者数	受講 決定者数	修了者数 (皆勤)
	コミュニケーション		入門昼	30人	61人	30人	28(8)人
			入門夜	30人	66人	30人	24(2)人
			基礎昼	30人	24人	22人	20(5)人
			基礎夜	30人	25人	24人	18(4)人
	通訳養成		基本昼	15人	11人	10人	10(2)人
基本夜			15人	21人	14人	10(3)人	
応用実践			10人	12人	7人	7(2)人	
試験対策			8人	2人	2人	1(0)人	
		合計		222人	139人	118(26)人	
3) 講演会（3回）							
	クラス	内容					
	入門・基礎	テーマ 手話を学ぶみなさんへ					

	(合同)	講師 河野光子 氏 (東京手話通訳等派遣センター)
	基本	テーマ 手話通訳をめざすみなさんへ 講師 北田美千代 氏 (東京手話通訳等派遣センター)
	応用実践	テーマ 手話通訳の仕事と心構え 講師 北條真由美 氏 (東京手話通訳等派遣センター)
	4) ろうゲスト (5回)	
	クラス	内容
	入門・基礎	【昼クラス】 テーマ 交流およびミニ講演会 講師 秋元節子 氏・石坂久美子 氏 【夜クラス】 テーマ 交流およびミニ講演会 講師 有山美代子 氏・森田由紀恵 氏
	基本	【昼クラス】 テーマ 交流およびミニ講演会 講師 秋元節子 氏・森田由紀恵 氏 【夜クラス】 テーマ 交流およびミニ講演会 講師 堀場照美 氏 (日野市聴覚障害者協会)
	応用実践	テーマ 私の生き立ち 講師 堀場照美 氏 (日野市聴覚障害者協会)
内容	<b>2. 保育制度</b>	
実績報告	受講生の保育希望者に対し保育サービスを提供した。 ・保育利用者 4人 (入門昼1人・基礎昼2人・基本昼1人)	
内容	<b>3. 手話通訳者全国統一試験受験合格者の輩出</b>	
実績報告	1) 「手話通訳者全国統一試験」意見交換会 出席 検討委員1人、日野市社会福祉協議会1人 2) 「手話通訳者全国統一試験」実施説明会 出席 検討委員1人、日野市社会福祉協議会1人 ※東京手話通訳者統一試験委員会事務局主催の受験予定者向け研修会や講演会については、受験予定者が当会を通さず委員会事務局に申し込むため、申込者数や参加者数は不明。	
内容	<b>4. 講師・助手会議等の開催</b>	
実績報告	1) 選考委員会 (1回) 2) 講師助手会議 (2回) 3) 次年度検討会 (2回)	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話に対する興味・関心を持つ市民が増えたのか、入門クラスの申込者が、昼夜クラス共に定員の倍以上となった。日野市公式LINEへの受講者募集記事の掲載、二次元コードを活用した申込方法等も功を奏したと捉えている。</li> <li>・令和元年度ぶりに全クラス集合型の開講式を開催することとなった。</li> <li>・日野市保育協力員制度を活用し、保育希望の受講生に対し保育サービスを提供した。保育を利用している受講生から「安心して講習会に通うことができる」という声をいただいた。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の市区町村との意見交換会や実施説明会に出席することで、他地域の手話講習会の状況を知ることができた。また試験の改正点等を早めに知ることができ、その対応について講師・助手と検討することができた。</li> <li>・検討委員及び講師・助手を担う3団体（日野市聴覚障害者協会、日野市登録手話通訳者の会、ひの手話サークル）と、主催である日野市障害福祉課と細めに連絡を取り合いながら講習会を実施した。</li> </ul>
--	---

事業名	<b>福祉教育ハートフルプロジェクト（新規）</b>
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	日野市独自の福祉教材（ハートフルブック）を活用した福祉体験や障害当事者等との交流を通じて、子どもたち一人一人が、多様性や違いを考えるきっかけ作りを行うことで、障害差別や偏見をなくし、お互いを認め合える育ちを促すことを目的とする。
内容	<b>福祉教育ハートフルプロジェクト事業の運営</b>
実績報告	<p>1) 福祉教育ハートフルプロジェクトの実施 令和2年4月施行の日野市障害者差別解消推進条例を踏まえ、小学生向け福祉教育を実施。第4次日野市学校教育基本構想に基づき、市民の「気づき」「意識変化」「行動」を促進。</p> <p>2) パートナー校（全5校） 第三小、第五小、第六小、第七小、旭が丘小で実施。 【実施内容】スタートアップ授業、当事者講話、車椅子・ブラインドウォーク・手話体験など。</p> <p>3) 障がい者週間イベントでの発表 ・福祉教育ハートフルプロジェクト紹介 ・第六小児童による発表 ・デフサッカー日本代表 名村昌矩氏の講演</p> <p>4) ハートフルプロジェクト講演会（1回）開催 地域共生社会を考えるシンポジウムと合同開催。</p>
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたち自身が障害や多様性について主体的に考える機会となり、「自分ごと」として捉える意識の芽生えが見られた。</li> <li>・体験や当事者の話を通じて、共感や理解が深まり、日常生活での配慮や思いやりある行動が促進された。</li> <li>・保護者や教職員からも「気づきの多い学びだった」との声があり、学校全体に福祉への関心が広がる契機となった。</li> <li>・今後は全市的な展開も視野に入れ、持続可能な取組として評価できる。</li> </ul>

事業名	<b>移動支援従事者養成研修事業（新規）</b>
事業形態	受託事業（日野市）

財源内訳	受託金										
担当係	総務係、地域支援係										
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ										
目的	障害者（児）の余暇活動や外出を支援するために必要な知識及び技術を習得する移動支援従事者の養成研修を実施する。また、移動支援事業を通じてこれから支える若手の福祉人材が市内に定着を図ることを目的とする。										
内容	<b>1. (知的障害児者等) 移動支援従事者養成研修の実施</b>										
実績報告	<p>1) 移動支援従事者養成研修</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講義①</td> <td>移動支援事業とは ほか</td> </tr> <tr> <td>施設実習</td> <td>施設における障害者支援について (2施設 10時間以上)</td> </tr> <tr> <td>外出実習</td> <td>外出時における障害者支援について (多摩動物公園散策・鉄道利用)</td> </tr> <tr> <td>講義②</td> <td>総括・修了証授与</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 受講人数 8人 (うち、修了者8人)</p> <p>3) 施設実習協力事業者 工房夢ふうせん・ふらっとすずかけ・光の家就労ホーム 障害児放課後クラブ・生活介護事業所とちのみ</p> <p>4) 受入事業者 (協定締結) なごみ在宅介護サービス日野</p> <p>5) 受入事業者への紹介者数 6人</p>	内容		講義①	移動支援事業とは ほか	施設実習	施設における障害者支援について (2施設 10時間以上)	外出実習	外出時における障害者支援について (多摩動物公園散策・鉄道利用)	講義②	総括・修了証授与
内容											
講義①	移動支援事業とは ほか										
施設実習	施設における障害者支援について (2施設 10時間以上)										
外出実習	外出時における障害者支援について (多摩動物公園散策・鉄道利用)										
講義②	総括・修了証授与										
内容	<b>2. 修了後研修の実施</b>										
実績報告	<p>研修修了し雇用契約 (従事) 後、安全・安心・円滑なサービス提供の実践を目的にフォローアップ研修を行う。</p> <p>1) 受入事業者による同行指導 修了後間もない移動支援従事者に対し、指導者が同行し実践的に指導。 修了者 6人 指導時間計 41.5時間</p> <p>2) 修了後研修</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講義</td> <td>実践後の振り返り</td> </tr> <tr> <td>事例報告</td> <td>先輩従事者による活動報告</td> </tr> <tr> <td>事例検討</td> <td>グループワークによる事例検討</td> </tr> </tbody> </table>	内容		講義	実践後の振り返り	事例報告	先輩従事者による活動報告	事例検討	グループワークによる事例検討		
内容											
講義	実践後の振り返り										
事例報告	先輩従事者による活動報告										
事例検討	グループワークによる事例検討										
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集想定人員 (6人) を超える応募者 (8人) あり、実施に影響がないと考え受講決定とした。</li> <li>・これまで学生中心の受講者であったが、今年度は社会人 (福祉業務経験者等) からの応募があり、支援の幅の広がりか期待できる。</li> <li>・一方、学生の応募が減少したため周知方法の再検討が必要となった。</li> </ul>										
事業名	<b>福祉のしごと相談・面接会および見学会</b>										

事業形態	第1回：共同主催（東京都福祉人材センター） 第2回および見学会：受託事業（日野市）				
財源内訳	第1回：歳末たすけあい配分金、第2回及び見学会：受託金				
担当係	総務係				
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ				
目的	介護・生活支援・保育等、日野市内の様々な福祉人材の確保・開拓を図る。				
内容	<b>相談・面接会の実施</b>				
実績報告	1) 主催者等				
	第1回	【主催】日野市社会福祉協議会、東京都福祉人材センター 【共催】ハローワーク八王子 【協力】日野市内社会福祉法人ネットワーク、日野市			
	第2回	【主催】日野市 【共催】ハローワーク八王子、東京都福祉人材センター 【協力】日野市内社会福祉法人ネットワーク			
	2) 実績 会場はいずれもイオンモール多摩平の森イオンホール				
	実施回	出展法人数		参加者	採用人数
第1回	15 法人	高齡 4法人 障害 8法人 保育 2法人 その他 1法人	76人	7人	高齡 4人 障害 2人 保育 1人
第2回	15 法人	高齡 5 法人 障害 9 法人 保育 1法人	67人	12人	高齡 1人 障害 9人 保育 2人
内容	<b>2. 見学会の実施</b>				
実績報告	1) 主催者等				
	【主催】日野市 【共催】東京都福祉人材センター 【後援】ハローワーク八王子 【協力】日野市内社会福祉法人ネットワーク				
	2) 実績 参加者数5人				
	実施回	見学先	のべ参加者	採用人数	
	第1回	東京光の家	3人	0人	
		介護老人保健施設クローバー	3人	0人	
第2回	栄光たまだいら保育園	0人	0人		
	わらべ日野市役所東保育園	1人	0人		
第3回	介護老人福祉施設ラペ日野	2人	0人		
	アルファラ百草教室	2人	0人		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談面接会の参加者の半数が福祉業界での就労未経験者であり、それぞれの出展事業所の業務内容を知る機会となった。</li> <li>・第2回では、参加する年代層が40代・50代以降が約60%を占め、社会人経験者もしくは無職者がほとんどとなった。</li> </ul>				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数をみると、以前と変わらず、その後の見学会や面接に進む数は少ないので、いかに次の採用へ繋がりがやすくなるのか検討していく必要がある。</li> <li>・見学先施設と参加者ともに見学会の機会があることは良いとの声があったが、今回の実績からは見学会の目的あるいは運営方法については検討する必要がある。</li> </ul>
--	---

事業名	<b>福祉人材育成研修事業</b>	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	在宅サービス係、総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ	
目的	市内の高齢福祉サービスおよび障害福祉サービス事業所の従事者を対象にスキルアップや就労定着の促進に向けた研修会を行う。また人材確保のための福祉施設の就労相談の見学会を実施する。	
内容	<b>1. 人材育成のための研修開催</b>	
実績報告	1) 福祉人材定着研修（全4回）	
	内容	参加者
	タイムマネジメント研修 講師 岩見俊哉 氏（株式会社ツクイススタッフパートナー） 講師/株式会社MAST 代表	18人
	「会議力向上研修」 講師 彦田美香子 氏（株式会社ジーシフト取締役社長）	28人
	「クレーム対応研修」 講師 喜山志津香 氏（コミュニケーションサポーター）	26人
	「福祉職のための記録の書き方」 講師 八木亜紀子 氏（アアリー株式会社代表取締役）	31人
	2) 施設職員・訪問介護員向け研修（全2回）	
	内容	参加者
	「BPSDを軽減する認知症ケア」 講師 松岡佳美 氏（介護老人保健施設みかわ看護師長）	27人
	福祉職のための精神医学」 講師 益田裕介 氏（早稲田メンタルクリニック院長）	46人
	3) ケアマネ向け研修（全4回）	
	内容	参加者
	「ケアマネジメント実践研修～自立支援を再確認～」 講師 後藤佳苗 氏（あたご研究所）	60人
	「令和6年度改正・改定を再確認し事業所管理と人材育成に生かそう！」 講師 後藤佳苗 氏（あたご研究所）	66人
	「介護支援専門員の今日の課題と次世代に向けて取り組むべきこと」 講師 能本守康 氏（日本介護支援専門員協会常任理事）	43人
	「根拠あるケアプランを目指して」 講師 清水太郎 氏（小平アットホームケアサービス所長）	34人

	<p>尾高裕一 氏 (特別養護老人ホーム大洋園施設長) 一井圭 氏 (アイム介護福祉支援センター代表取締役社長)</p>												
	<p>4) 管理者・経営者向け研修 (全1回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「カスハラ対応研修」 講師 喜山志津香 氏 (コミュニケーションサポーター)</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>	内容	参加者	「カスハラ対応研修」 講師 喜山志津香 氏 (コミュニケーションサポーター)	20人								
内容	参加者												
「カスハラ対応研修」 講師 喜山志津香 氏 (コミュニケーションサポーター)	20人												
	<p>5) TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言事業の周知啓発</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施時期</th> <th>内容</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月下旬</td> <td>リーフレット郵送 対象：高齢・障害・児童福祉施設)</td> <td>276部</td> </tr> <tr> <td>11月～12月</td> <td>アンケート調査 (対象：高齢・障害福祉施設)</td> <td>約150施設</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>リーフレット配布 (対象：管理者向け研修受講者)</td> <td>20部</td> </tr> </tbody> </table>	実施時期	内容	数量	9月下旬	リーフレット郵送 対象：高齢・障害・児童福祉施設)	276部	11月～12月	アンケート調査 (対象：高齢・障害福祉施設)	約150施設	3月	リーフレット配布 (対象：管理者向け研修受講者)	20部
実施時期	内容	数量											
9月下旬	リーフレット郵送 対象：高齢・障害・児童福祉施設)	276部											
11月～12月	アンケート調査 (対象：高齢・障害福祉施設)	約150施設											
3月	リーフレット配布 (対象：管理者向け研修受講者)	20部											
事業効果・評価 方向性等	<p>・研修事業の参加者数は、昨年度と比較して全体的に増加した。研修案内の回数を増やし、リマインドの頻度を高めたことが、参加促進に寄与したと考えられる。今後も質の高い研修を提供するため、関連情報の収集を継続していく。</p>												

事業名	<b>社会福祉士養成のための実習生の受入</b>		
事業形態	自主事業		
財源内訳	受入研修費		
担当係	総務係・地域支援係・ボランティア係・権利擁護係・在宅サービス係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ		
目的	将来の福祉人材を育成するため、社会福祉士を目指す学生を実習生として受け入れ、専門職としての指導を行う。		
内容	<b>1. 実習プログラムの作成・指導</b>		
実績報告	1) 実習指導者 実習指導者講習を修了した職員が中心となって実習プログラムを作成し、実習指導を行った。		
	2) 実習生の受入 大学等の社会福祉士養成機関からの要請に応じて、180時間以上もしくは、60時間以上の実習指導を行った。		
	養成機関 (学校人)	期間 (日数・時間)	人数
	大妻女子大学人間社会学部 人間福祉学科3年次生	7/5-9/13 (26日間・194時間)	1人
	法政大学現代福祉学部 福祉コミュニティ学科3年次生	7/5-9/21 (23日・177時間)	1人
	群馬福祉専門学校 社会福祉士通信課程学生	8/30-10/25 (26日・193時間)	1人
法政大学現代福祉学部 福祉コミュニティ学科3年次生	2/4-2/17 (9日・66時間)	1人	
	3) 実習報告会の開催 (2回)		

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに登録した2人の実習指導者を中心に、基本となる実習プログラムを作成した。</li> <li>・市内在住の方であったため、今回初めて群馬福祉専門学校社会福祉士通信課程の学生を受け入れた。今後も柔軟な受け入れを検討していく。</li> </ul>
-----------------	---

## 法人運営事業

事業名	<b>組織運営事業</b>		
事業形態	自主事業、補助事業		
財源内訳	補助金、償還金、広告料、手数料、受入研修費、積立金、繰越金		
担当係	総務係 (9. 部会活動は在宅サービス係、ボランティア係)		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	各種法令や諸規程を遵守し、住民参加による透明性の高い法人組織として健全な運営を図る。 法人内の係間の調整や事務局管理を行い、効果的かつ効率的な経営が行われるよう努める。		
内容	<b>1. 理事会・評議員会・経営会議の開催</b>		
実績報告	1) 理事会		
	実施回	実施日	内容
	第1回	6/12	報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第1号 令和5年度 事業報告について 審議第2号 令和5年度 決算報告ならびに監査報告について 審議第3号 令和5年度 社会福祉充実残額について 審議第4号 苦情解決に関する規程の一部改正について 審議第5号 在宅高齢者ケアサービス事業運営規程の一部改正について 審議第6号 新役員(理事・監事)候補者の提案について 審議第7号 定時評議員会の開催について
	第2回	11/14	報告第2号 理事の辞任について 報告第3号 会長及び常務理事の職務執行状況について 報告第4号 日野事務所の多摩平移転について 報告第5号 遺贈の申出について 審議第8号 令和6年度(2024年度)上半期事業報告について 審議第9号 令和6年度(2024年度)上半期決算報告ならびに監査報告について 審議第10号 令和6年度第一次補正予算の報告承認について 審議第11号 令和6年度第二次補正予算の報告承認について 審議第12号 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について 審議第13号 評議員会の開催について
第3回	3/10	報告第6号 日野事務所の多摩平移転について 報告第7号 遺贈の申出について 審議第14号 令和7年度(2025年度)事業計画について 審議第15号 令和7年度(2025年度)予算について 審議第16号 令和6年度第三次補正予算の報告承認について 審議第17号 令和6年度第四次補正予算の承認について 審議第18号 評議員会の開催について	

	<p>2) 評議員会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定時評議員会</td> <td>6/27</td> <td>           議案第1号 令和5年度 事業報告について            議案第2号 令和5年度 決算報告ならびに監査報告について            議案第3号 令和5年度 社会福祉充実残額について            議案第4号 苦情解決に関する規程の一部改正について            議案第5号 在宅高齢者ケアサービス事業運営規程の一部改正について            議案第6号 新役員（理事・監事）候補者の選任について         </td> </tr> <tr> <td>第1回</td> <td>11/25</td> <td>           議案第7号 令和6年度（2024年度）上半期事業報告について            議案第8号 令和6年度（2024年度）上半期決算報告ならびに監査報告について            議案第9号 令和6年度第一次補正予算の報告承認について            議案第10号 令和6年度第二次補正予算の報告承認について            議案第11号 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について            議案第12号 役員（理事）の辞任について            報告第1号 日野事務所の多摩平移転について            報告第2号 遺贈の申出について         </td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>3/24</td> <td>           報告第3号 日野事務所の多摩平移転について            報告第4号 遺贈の申出について            議案第13号 令和7年度（2025年度） 事業計画について            議案第14号 令和7年度（2025年度） 予算について            議案第15号 令和6年度第三次補正予算の報告承認について            議案第16号 令和6年度第四次補正予算の承認について         </td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 経営会議（12回）</p> <p>4) 内部監査（監査）</p> <p>①令和5年度決算監査 6/3（月）</p> <p>②令和6年度上半期決算監査 11/5（火）</p> <p>5) 市指導監査 1/31（金）</p>		実施日	内容	定時評議員会	6/27	議案第1号 令和5年度 事業報告について 議案第2号 令和5年度 決算報告ならびに監査報告について 議案第3号 令和5年度 社会福祉充実残額について 議案第4号 苦情解決に関する規程の一部改正について 議案第5号 在宅高齢者ケアサービス事業運営規程の一部改正について 議案第6号 新役員（理事・監事）候補者の選任について	第1回	11/25	議案第7号 令和6年度（2024年度）上半期事業報告について 議案第8号 令和6年度（2024年度）上半期決算報告ならびに監査報告について 議案第9号 令和6年度第一次補正予算の報告承認について 議案第10号 令和6年度第二次補正予算の報告承認について 議案第11号 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について 議案第12号 役員（理事）の辞任について 報告第1号 日野事務所の多摩平移転について 報告第2号 遺贈の申出について	第2回	3/24	報告第3号 日野事務所の多摩平移転について 報告第4号 遺贈の申出について 議案第13号 令和7年度（2025年度） 事業計画について 議案第14号 令和7年度（2025年度） 予算について 議案第15号 令和6年度第三次補正予算の報告承認について 議案第16号 令和6年度第四次補正予算の承認について
	実施日	内容											
定時評議員会	6/27	議案第1号 令和5年度 事業報告について 議案第2号 令和5年度 決算報告ならびに監査報告について 議案第3号 令和5年度 社会福祉充実残額について 議案第4号 苦情解決に関する規程の一部改正について 議案第5号 在宅高齢者ケアサービス事業運営規程の一部改正について 議案第6号 新役員（理事・監事）候補者の選任について											
第1回	11/25	議案第7号 令和6年度（2024年度）上半期事業報告について 議案第8号 令和6年度（2024年度）上半期決算報告ならびに監査報告について 議案第9号 令和6年度第一次補正予算の報告承認について 議案第10号 令和6年度第二次補正予算の報告承認について 議案第11号 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について 議案第12号 役員（理事）の辞任について 報告第1号 日野事務所の多摩平移転について 報告第2号 遺贈の申出について											
第2回	3/24	報告第3号 日野事務所の多摩平移転について 報告第4号 遺贈の申出について 議案第13号 令和7年度（2025年度） 事業計画について 議案第14号 令和7年度（2025年度） 予算について 議案第15号 令和6年度第三次補正予算の報告承認について 議案第16号 令和6年度第四次補正予算の承認について											
内 容	<b>2. 福祉サービスに関する苦情申出窓口の設置</b>												
実績報告	<p>1) 苦情受付件数 0件</p> <p>2) 前年度からの継続対応 1件 在宅高齢者ケアサービス事業において、令和6年1月9日に利用会員より苦情申立があった。</p> <p>【苦情申立内容】 草むしり活動中に関する苦情</p> <p>【対応内容】 本会職員及び第三者委員が聞き取り調査の上、令和5年度から6年度にかけて以下の対応を行った。</p> <p>①再発防止策の策定 ②運営規程の見直し ③利用会員／協力会員の手引きの見直し ④当該利用料の免除</p>												
内 容	<b>3. 第5次日野市地域福祉活動計画の推進</b>												
実績報告	<p>5ヶ年（令和3年度～令和7年度）の活動計画の推進状況について、推進会議で評価を行った。</p> <p>1) 第5次日野市地域福祉活動計画推進会議 推進委員（順不同敬称略）</p>												

	<p>委員長 山本美香 氏 (東洋大学福祉社会デザイン学部)  副委員長 浅野大輔 氏 (社会福祉法人夢ふうせん)  中澤洋 氏 (日野市商工会/日野市社会福祉協議会理事)  大澤朋子 氏 (実践女子大学生生活科学部/日野市社会福祉協議会理事)  中村真佐子 氏 (権利擁護センター日野 生活支援員)  北村智史 氏 (公益社団法人成年後見センターリーガルサポート東京支部)  矢崎功 氏 (南平地区社会福祉協議会)  木下菜摘 氏 (社会福祉法人マザアス)  粟沢稚富美 氏 (日野市立駅前子育て応援施設 子育てカフェモグモグ)  川田利子 氏 (地域包括支援センターいきいきタウン)  藤田博文 氏 (NPO 法人幹福社会 自立生活センター・日野)  丹野慶子 氏 (日野市民生委員・児童委員協議会)  松田渉 氏 (日野市健康福祉部福祉政策課)  中沢智道 氏 (日野市企画部地域協働課)</p> <p>2) 会議の開催 1回</p> <table border="1" data-bbox="422 797 1142 931"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進状況報告及び評価 計画期間の令和8年度までの延長等</td> <td>14人</td> </tr> </tbody> </table>	内容	参加者	推進状況報告及び評価 計画期間の令和8年度までの延長等	14人									
内容	参加者													
推進状況報告及び評価 計画期間の令和8年度までの延長等	14人													
内容	<b>4. 法人管理運営</b>													
実績報告	<p>各種法令を遵守し、法人管理事務を行った。  人事・給与 福利厚生 (健康診断・管理) 文書類の收受  事業計画・報告 予算管理・決算事務 (会計処理) その他の事務</p>													
内容	<b>5. 会員の募集・拡充</b>													
実績報告	<p>1) 会員募集の協力依頼  自治会や日野市民生委員・児童委員協議会、日野市老人クラブ連合会、日野市赤十字奉仕団、社会福祉法人、日野市商工会、教育機関、日野市役所等様々な協力団体に対し、会員募集の協力依頼を行った。  また、広報ひのやひの社協だより等で税額控除団体であることを周知し、広く市民に対して会員募集の呼びかけを行った。</p> <p><b>【会員募集を掲載した広報媒体】</b>  ひの社協だより・ボランティア・インフォメーション・WEB サイト  チラシ・広報ひの  会費実績</p> <table border="1" data-bbox="437 1630 1318 1928"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計 (件数)</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">6年度</td> <td rowspan="3">2,968,650円 (671件)</td> <td>個人 329,000円 (273件)</td> </tr> <tr> <td>特別 350,000円 (77件)</td> </tr> <tr> <td>団体 2,289,650円 (321件)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5年度</td> <td rowspan="3">3,175,000円 (682件)</td> <td>個人 346,000円 (260件)</td> </tr> <tr> <td>特別 493,000円 (99件)</td> </tr> <tr> <td>団体 2,336,000円 (323件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 第40回福祉のつどい  地域福祉の推進に多大な貢献のあった方を対象とした表彰式。表彰にあたっては、推薦を受けた方について表彰審議委員会で審議し、承認された方を</p>		合計 (件数)	内訳	6年度	2,968,650円 (671件)	個人 329,000円 (273件)	特別 350,000円 (77件)	団体 2,289,650円 (321件)	5年度	3,175,000円 (682件)	個人 346,000円 (260件)	特別 493,000円 (99件)	団体 2,336,000円 (323件)
	合計 (件数)	内訳												
6年度	2,968,650円 (671件)	個人 329,000円 (273件)												
		特別 350,000円 (77件)												
		団体 2,289,650円 (321件)												
5年度	3,175,000円 (682件)	個人 346,000円 (260件)												
		特別 493,000円 (99件)												
		団体 2,336,000円 (323件)												

	<p>対象とした。</p> <p>①表彰式</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">内容</th> </tr> <tr> <td colspan="2">表彰状・感謝状贈呈 受賞者21人（表彰状7人、感謝状14人） 受賞者挨拶 中村静江 氏</td> </tr> </table> <p>②推薦団体 日野市赤十字奉仕団、朗読サークル「ひの」、社会福祉法人東京光の家 日野市老人クラブ連合会、社会福祉法人日野市社会福祉協議会</p> <p>③表彰審議委員会</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">内容</th> </tr> <tr> <td colspan="2">推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事2人・事務局</td> </tr> </table>	内容		表彰状・感謝状贈呈 受賞者21人（表彰状7人、感謝状14人） 受賞者挨拶 中村静江 氏		内容		推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事2人・事務局	
内容									
表彰状・感謝状贈呈 受賞者21人（表彰状7人、感謝状14人） 受賞者挨拶 中村静江 氏									
内容									
推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事2人・事務局									
内 容	<b>6. 地域福祉活動のための自己財源や共同募金の確保</b>								
実績報告	<p>寄附金や共同募金の募集とともに使途報告に努め、継続・拡充を図った。</p> <p>1) 寄附金実績 ※志賀町仮設住宅クリスマスギフト寄附を含む。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計額 (件数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>20,693,940円 (114件)</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>1,355,469円 (51件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 共同募金（詳細は後述「歳末たすけあい募金」、「赤い羽根共同募金」）</p> <p>3) 遺贈寄附 故人となった元・在宅高齢者ケアサービス利用会員の任意後見監督人より、4月9日に相談があった。 遺言執行人の弁護士や税理士と継続的に相談しながら、受贈を進めた。</p> <p>4) 収益事業をはじめとする事業の健全経営について 自販機3台を新規設置した。（詳細は後述「自動販売機等設置事業」）</p> <p>5) 積立金の運用方法の検討について 上述の経営会議にて検討し、令和7年度の事務所移転費用の予算として活用していくこととなった。</p>		合計額 (件数)	6年度	20,693,940円 (114件)	5年度	1,355,469円 (51件)		
	合計額 (件数)								
6年度	20,693,940円 (114件)								
5年度	1,355,469円 (51件)								
内 容	<b>7. 広報活動の工夫</b>								
実績報告	<p>1) 広報紙「ひの社協だより」の発行 No250 (6月30日発行) 36,000部 主な記事 福祉のしごと相談会、夏の体験ボランティア等 No251 (10月27日発行) 36,000部 主な記事 歳末たすけあいソバザー、福祉のしごと見学会等 No252 (2月2日発行) 36,000部 主な記事 福祉のしごと相談面接会、地域共生社会を考えるシンポジウム等</p> <p>2) チラシ等の作成 有料版Canvaを活用し、各係独自のチラシ作りを行った。</p>								
内 容	<b>8. 事務局体制の整備・職員の資質向上</b>								

実績報告	<p>1) 職員会議 12回</p> <p>2) 東京都社会福祉協議会、南多摩ブロック職員の会等主催の研修への参加を通じて、職員の資質向上に努めた。</p> <p>3) 情報セキュリティ研修 会長、常務理事をはじめとする役職員を対象に、日野市が開催する研修へ参加した。 参加者 28人</p>						
内容	<b>9. 部会活動</b>						
実績報告	<p>1) 障害者施設職員交流会部会 障害者施設職員間の交流及び知識・スキルの向上を目的とした交流会を開催した。(2回)</p> <table border="1" data-bbox="451 645 1259 860"> <thead> <tr> <th data-bbox="451 645 975 692">内容</th> <th data-bbox="975 645 1259 692">会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="451 692 975 775">情報交換 ・今年度の開催方法や内容について</td> <td data-bbox="975 692 1259 775">中央福祉センター</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 775 975 860">情報交換・見学 ・施設(夢ふうせん)見学</td> <td data-bbox="975 775 1259 860">夢ふうせん</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 児童部会 活動なし</p>	内容	会場	情報交換 ・今年度の開催方法や内容について	中央福祉センター	情報交換・見学 ・施設(夢ふうせん)見学	夢ふうせん
内容	会場						
情報交換 ・今年度の開催方法や内容について	中央福祉センター						
情報交換・見学 ・施設(夢ふうせん)見学	夢ふうせん						
内容	<b>10. 外部団体委員等への協力</b>						
実績報告	<p>(会長)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東京都社会福祉協議会区市町村社会福祉協議会 評議員会</li> <li>2. 南多摩保健所協議会</li> <li>3. (社福) 東京都共同募金会 評議員会</li> <li>4. 社福) 東京緑新会 理事会</li> <li>5. 普段着でCO2をへらそう実行委員会</li> <li>6. 日野社会教育センター運営委員会</li> <li>7. 日野市民生委員推薦会</li> </ol> <p>(職員)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日野市地域福祉計画推進委員会</li> <li>2. 日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会</li> <li>3. 日野市介護保険運営協議会等</li> <li>4. 日野市生活困窮者自立支援相談事業支援調整会議</li> <li>5. 日野市住宅ストック活用推進協議会</li> <li>6. 日野市居住支援協議会</li> <li>7. 日野市献血推進協議会</li> <li>8. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会</li> <li>9. 日野消防署住宅防火防災対策推進協議会</li> <li>10. 地域力強化推進事業 支援ネットワーク委員会</li> <li>11. 日野・多摩・稲城地区保護司会 保護司候補者検討協議会</li> <li>12. 日野わーく・わーく</li> <li>13. 日野市障害者就業支援連絡会</li> <li>14. 地域自立支援協議会</li> <li>15. 障害者差別解消支援地域協議会</li> <li>16. 日野市中卒後支援検討委員会</li> <li>17. 日野市再犯防止推進委員会</li> </ol>						

	<p>18. 日野市ヤングケアラー支援検討会  19. 東京都七生福祉園苦情解決委員会  20. 日野市認知症対策推進会議  21. 地域生活支援センターゆうき連絡協議会  22. 日野市営住宅管理審議会  23. 日野市地域福祉計画策定員会  24. 日野台高等学校 防災教育推進委員会</p>
内 容	<b>11. 事務所移転</b>
実績報告	<p>日野事務所の事務所移転に向けて、日野市福祉政策課や関係者と打ち合わせを重ねて準備を進めた。</p>
内容I～IIまでの事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員採用試験をこれまでで最も早い8月に実施した。現在の新卒者の就職活動はこの時期には既にほぼ終了してしまっているため、既卒者を対象とした試験となった。</li> <li>・8月に実施した1回目の採用試験では十分な職員採用に結び付かなかったため、1月に2回目の採用試験を実施した。</li> <li>・会員制度や会員登録状況についての法人内部での理解を深め、ボランティア・インフォメーションや独自チラシを使った新たな広報を行った。</li> <li>・新たな広報の効果もあって個人会員の会員数は増加したが、自治会の解散等で団体会員の会員数は微減し、会員会費の合計金額としても減少となった。</li> <li>・第40回福祉のつどいでは、来賓の日野市長、日野市議会議長と受賞者などが気さくに語り合う姿が随所で見られ、和やかな雰囲気です式典を開催することができた。</li> <li>・寄附が昨年度以前のように集まらない中、遺贈寄附の相談があったため、専門家との相談を重ねながら受贈準備を行った。</li> <li>・市の指導監査において、公認会計士や税理士などの専門職活用について助言があったため、今後検討していく。</li> <li>・事務所移転先の器具什器やパソコン、データサーバー、電話機など事業実施に必要な設備を整えるため、令和7年度予算の中で積立金を活用することとなった。</li> </ul>
内 容	<b>12. 日野市内社会福祉法人ネットワーク</b>
実績報告	<p>市内の社会福祉法人が地域公益活動を円滑に行っていくこと等を目指すネットワークの事務局として、幹事会で協議しながら「暮らしの支援」「福祉教育の充実、福祉人材の育成」「情報発信」の3つの柱でのネットワーク活動を推進する。</p> <p>1) 幹事会の開催  ①開催数：5回  ②幹事（順不同）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浅野大輔 氏（夢ふうせん 工房夢ふうせん 施設長）</li> <li>・岩谷健治 氏（東京緑新会 多摩療護園 園長）</li> <li>・神田耕治 氏（友遊の家 理事長）</li> <li>・木下菜摘 氏（マザアス マザアス日野 施設長）</li> <li>・長谷川育代 氏（至誠学舎立川 万願寺保育園 園長）</li> <li>・野原久代 氏（のぎく会 日野保育園 園長）</li> <li>・鈴木勝豊（日野市社会福祉協議会 会長）</li> </ul> <p>2) フードバンク TAMA「日野市フードパントリー事業」への協力</p>

受付窓口 (社会福祉施設等)	件数 (箱)
日野市社会福祉協議会 (日野事務所)	704
日野市社会福祉協議会 (高幡事務所)	482
東京緑新会 (多摩療護園)	76
夢ふうせん(工房夢ふうせん)	206
すずかけの会 (ふらっと・すずかけ)	208
マザアス (日野市地域包括支援センター多摩川苑)	135
のぎく会 (日野保育園)	45
至誠学舎立川 (万願寺保育園)	68
至誠学舎立川 (至誠あずま保育園)	89
至誠学舎立川 (しせい太陽の子保育園)	101
その他	2
6年度 合計	2,116
5年度 合計	3,465

①フードパントリー関係者会議 1回

協力施設や市関係機関と共にフードパントリー事業に関する情報交換を行った。

②こども家庭庁 ひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業

フードパントリー事業を利用するひとり親家庭世帯等の支援のため、こども家庭庁の助成事業を利用した。

助成交付決定額 1,800,000円

③東京都共同募金会 生活困窮者への緊急支援活動助成事業

フードパントリー事業を利用する子どものいる生活困窮世帯等の支援のため、東京都共同募金会の助成事業を利用した。

助成交付決定額 500,000円

④東京都フードパントリー緊急支援事業

フードパントリーの利用件数の増加に対応しながら事業継続するため、東京都の助成事業を利用した。

助成交付決定額 1,440,000円

⑤フードパントリー支援検討会議 3回

市セーフティネットコールセンターおよび市生活福祉課と利用者支援に向けた検討を行った。

3) 社会福祉法人友遊の家「買い物お助けサービス」に対する後方支援 (毎月第2, 4土曜日実施)

4) 明星大学人文学部福祉実践学科「地域ニーズ開発」

内容	スタッフ
<p>1年次生を対象に、社会福祉法人施設の職員等が出張講義を行った。</p> <p>テーマ「障害(者)の理解、福祉支援者のニーズ」</p> <p>○プレゼンテーション「年齢が比較的近い施設職員や学生の移動支援従事者による日頃の業務や活動について」</p> <p>○プレゼンテーション「障害当事者による普段の生</p>	15人

活や趣味について」 ○グループディスカッション 会場：明星大学	
---------------------------------------	--

5) ひの社協だより「福祉のしごと魅力発信」 3回掲載 (250号～252号)

6) 地域共生社会を考えるシンポジウム

内容	参加者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こうして「ごちゃまぜ」の街ができた</li> <li>・能登半島地震、能登豪雨災害の中で</li> <li>・「ごちゃまぜ」の持つ魅力</li> </ul> 講師：雄谷良成 氏 (社会福祉法人佛子園理事長) 会場：イオンモール多摩平の森イオンホール	130人

※福祉教育ハートフルプロジェクト特別講演会と合同開催

7) 日野市民でつくる防災・減災シンポジウムへの協力

8) 防災担当者勉強会

内容	参加者
東京 DWAT などの活動や災害福祉について	8人
東京 DWAT などの活動や災害福祉の話聞いて 日野市内社会福祉法人ネットワークとして出来ること	10人
東京 DWAT マニュアルについて 日野市内社会福祉法人ネットワークとして今後の進め方	10人
災害救助法の基礎知識	18法人 21人

9) 防災担当者交流会

内容	参加者
災害時の法人連携について DWAT (災害派遣福祉チーム) について 防災備蓄品の貸与について	18法人 21人

10) フードドライブ

内容	参加者
寄贈食品 約40kg	7法人 7施設

11) 情報交換会

内容	参加者
グループワーク	5法人
情報交換	8人

事業効果・評価  
方向性等

・日野市地域福祉計画策定委員会への委員協力依頼があり、代表幹事が委員に就任した。  
 ・フードパントリー事業の利用回数が予算の都合から利用者1世帯あたり年度内3回までに変更となり、令和5年度から月平均112件減少した。3回では不足するという方へは関係機関・団体と連携して支援を行った。  
 ・能登半島地震および能登豪雨災害があった中、社会福祉法人の防災や災害時の連携について進めていくため、防災担当者向けの勉強会や交流会を実施

	<p>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人職員を対象とした情報交換会を令和元年度以来で開催したところ、特に小規模の法人に勤務する職員からさらなる情報交換や研修の機会について要望があった。</li> </ul>
--	--

## 公益事業拠点区分

### 福祉センター管理事業

事業名	<b>日野市立中央福祉センターの管理運営</b>			
事業形態	指定管理者制度（令和4年4月1日～令和9年3月31日）			
財源内訳	受託金（指定管理料）			
担当係	総務係			
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ			
目的	各種福祉団体の連絡・調整を行い、社会福祉の啓発や市民の健康増進を通じて地域福祉の推進を図るとともに、利用者が安全に利用できるよう施設運営に努める。			
内容	<b>1. 快適な施設利用への配慮、安全かつ効率的な施設運営</b>			
実績報告	1) 施設概要 開館日 火曜日～日曜日 ※こどもの日を除く祝日は休館			
	2) 利用実績			
		利用者		
		開館日数	利用団体数	利用者数
	6年度	299日	2,437団体	32,577人
	5年度	301日	2,494団体	32,272人
	3) 施設管理に関わる再委託業務 ①消防設備保守 ②冷暖房機器保守 ③自動扉保守 ④車椅子階段昇降機保守 ⑤機械警備 ⑥定期清掃 ⑦管理運営（受付・日常清掃）			
内容	<b>2. 管理内容の報告、今後について協議</b>			
実績報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷暖房機器について、耐用年数を超えて使用し続けているため、特に冷房の効きが悪くなっている。保守点検業者からは機器の全面交換を勧められているが、キュービクル式高圧受電設備の増設が必要であり、市の関係部署と協議を継続中である。</li> <li>・車椅子階段昇降機についても、部品の製造が既に中止されているため、不具合等が発生した際は中古部品を調達して修繕を実施している状況である。</li> </ul>			

### 日常生活総合支援事業

事業名	<b>訪問型サービス A 生活援助型事業</b>
-----	--------------------------

事業形態	介護保険事業（日野市）																			
財源内訳	介護保険事業収入（公費・利用料）																			
担当係	在宅サービス係																			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																			
目的	高齢者が住み慣れた自宅でいつまでも安心して暮らせるよう、ヘルパーが訪問して高齢者自身の自らの能力を最大限に活かしながら生活援助を行うことで、要介護状態にならないように予防することを目指す。																			
内容	<b>1. 要支援認定者および事業対象者への生活援助</b>																			
実績報告	<p>平成28年4月より開始した日野市介護予防・日常生活支援総合事業において、要支援1・2の認定もしくは地域包括支援センターが実施する基本チェックリストで事業対象となった方を対象に、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等が作成する介護予防ケアプランに基づいて、あらかじめ登録したヘルパーによる掃除・洗濯・買い物・食事づくり等の生活援助を行う。</p> <p>1) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規契約数</th> <th>実利用者数</th> <th>利用時間</th> <th>終了（解約）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>6件</td> <td>191人</td> <td>909時間</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 利用契約者数・登録ヘルパー数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>契約者数</th> <th>ヘルパー数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>18人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>16人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table>		新規契約数	実利用者数	利用時間	終了（解約）	6年度	6件	191人	909時間	3件		契約者数	ヘルパー数	6年度	18人	22人	5年度	16人	22人
	新規契約数	実利用者数	利用時間	終了（解約）																
6年度	6件	191人	909時間	3件																
	契約者数	ヘルパー数																		
6年度	18人	22人																		
5年度	16人	22人																		
内容	<b>2. 登録ヘルパー向け研修の提供</b>																			
実績報告	<p>登録ヘルパーを対象とした資質向上を目的とする研修を、ケアサービス協力会員研修や福祉人材育成研修等の実施に併せて案内を行った。</p> <p>内容 「認知症の人の世界に寄り添う」 講師 松岡佳美 氏（介護老人保健施設みかわ看護師長） 参加者 3人</p>																			
内容	<b>3. 登録ヘルパー募集説明会等による人材確保</b>																			
実績報告	生活援助型スタッフ研修修了者への仕事相談会やケアサービス事業説明会の時に随時案内を行った。																			
事業効果・評価方向性等	・地域包括支援センターからの依頼にもよるが、事業開始以後、利用者数は安定している。																			

事業名	<b>訪問型サービスB 生活援助型事業</b>
事業形態	介護保険事業（日野市）
財源内訳	介護保険事業収入（公費・利用料）
担当係	在宅サービス係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	孤立しがちな高齢者が地域の中で安心していきいきと暮らせるよう、一人暮らし高齢者や高齢者世帯等のちょっとした困りごとへの支援を通じて、必要に応じて福祉サービスや支援機関につなげることを目的とする。

内 容	<b>1. 事業対象者への生活援助</b>								
実績報告	<p>1) 対象者 日野市介護予防・日常生活支援総合事業において、市内に住所を有する者であって、次の各号のいずれかの要件を満たすものとする。 ①おおむね 65 歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯 ②その他、会長が特に必要と認める者</p> <p>2) 作業内容 あらかじめ登録した活動協力者による、専門技術を必要としない概ね 30 分以内で終了する継続性のない作業</p> <p>3) サービス概要 ①サービス提供時間 月曜日から金曜日の 8:30 から 17:00 (祝日、年末年始を除く。)</p> <p>4) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>活動件数</th> <th>利用者数 (延べ)</th> <th>利用時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6 年度</td> <td>23 件</td> <td>22 人</td> <td>19.5 時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>主な内容：ゴミ出し、電球交換、家具の移動、郵送補助、買い物補助など</p> <p>5) 活動協力者数 協力者数：14 人 (前年度 10 人)</p>		活動件数	利用者数 (延べ)	利用時間	6 年度	23 件	22 人	19.5 時間
	活動件数	利用者数 (延べ)	利用時間						
6 年度	23 件	22 人	19.5 時間						
内 容	<b>2. 活動協力者募集説明会等による人材確保</b>								
実績報告	安定したサービス提供ができるよう、ケアサービス協力会員から活動協力者を募り、人材を確保した。								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野市生活支援体制整備事業(地域支援係担当)の中で、その他市内の団体と連携し市内の空白地帯が無いよう、また日野市等から依頼があればなるべく対応できるよう実施している。</li> <li>・ケアサービス協力会員からの活動協力者の募集や、各種事業説明会等で引き続き活動協力者を確保していく。</li> </ul>								

## 収益事業拠点区分

事業名	<b>自動販売機設置等管理事業</b>
事業形態	収益事業
財源内訳	手数料、利用料
担当係	総務係
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ
目的	公共施設の自動販売機の設置や中央福祉センター内の印刷機等を貸し出しする等、施設の利便性の向上を図り社会福祉事業における財源確保に努める。
内 容	<b>1. 自主財源の確保</b>
実績報告	1) 自動販売機の設置

	<p>①実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>台数</th> <th>ロケマージン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>25台</td> <td>5,624,630円</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>23台</td> <td>5,202,710円</td> </tr> </tbody> </table> <p>②設置場所 15ヶ所25台 ※ ( ) 内は台数。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日野市役所1階 (5)</li> <li>・ひの煉瓦ホール (3)</li> <li>・クリーンセンター (2)</li> <li>・プラスチック類資源化施設 (1)</li> <li>・中央福祉センター (2)</li> <li>・生活・保健センター (1)</li> <li>・福祉支援センター (1)</li> <li>・中央図書館 (1)</li> <li>・中央公民館 (1)</li> <li>・みらいく (2)</li> <li>・教育センター (1)</li> <li>・ふるさと歴史館 (2)</li> <li>・PlanT (1)</li> <li>・石田環境プラザ (1)</li> <li>・日野市発達・教育支援センターエール (1)</li> </ul> <p>③新たな設置場所の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日野市子ども包括支援センターみらいく (2台)</li> <li>・中央図書館 (1台)</li> </ul> <p>2) 事故・苦情の相談受付 (4件)</p> <p>3) 福祉団体等への印刷機材等の貸出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>利用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>60件</td> <td>106,545円</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>58件</td> <td>81,622円</td> </tr> </tbody> </table>		台数	ロケマージン	6年度	25台	5,624,630円	5年度	23台	5,202,710円		件数	利用料	6年度	60件	106,545円	5年度	58件	81,622円
	台数	ロケマージン																	
6年度	25台	5,624,630円																	
5年度	23台	5,202,710円																	
	件数	利用料																	
6年度	60件	106,545円																	
5年度	58件	81,622円																	
内 容	<b>2. 共同募金運動への協力</b>																		
実績報告	<p>「地域貢献型自動販売機」の手数料の一部を継続的に共同募金とする。</p> <p>実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>台数</th> <th>ロケマージン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>18台</td> <td>432,488円</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>18台</td> <td>344,614円</td> </tr> </tbody> </table>		台数	ロケマージン	6年度	18台	432,488円	5年度	18台	344,614円									
	台数	ロケマージン																	
6年度	18台	432,488円																	
5年度	18台	344,614円																	
事業効果・評価 方向性等	・公共施設の統廃合等により自販機設置数が減少し続けていたが、3年ぶりに2施設へ3台の自販機を新たに設置することができた。																		

事業名	<b>日野市役所内売店の運営</b>		
事業形態	収益事業		
財源内訳	売上金、繰越金		
担当係	総務係・日野市役所内売店		
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ		
目的	日野市役所内売店を運営し、市役所の利便性の向上を図るとともに、社会福祉事業における財源確保に努める。		
内容	<b>1. 健全な経営・感染防止策の徹底</b>		
実績報告	営業日時 月～金曜日 (9:30～15:30) ※祝日・年末年始を除く 従業員 管理責任者1人、補助職員3人		
	年度	売上	商品残高
	6年度	21,320,859円	2,128,354円

	5年度	21,068,075円	1,913,570円
内 容	<b>2. 障害者の社会参加の促進</b>		
実績報告	障害者施設の利用者を実習生として受け入れ、販売・清掃等の補助業務を通じた社会訓練を実施した。 実習生 社会福祉法人日野青い鳥福祉会1人 週3回勤務		
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕入価格の高騰が続く一方、売上が伸び悩んでいる。10月1日からの郵送料改定に伴い、郵券を多量に仕入れたため商品残高が大幅に増加した。</li> <li>令和5年度は感染症の影響による従業員体制の確保に苦慮する場面があったが、感染防止策を取ることで今年度は乗り切ることができた。</li> </ul>		

## 共同募金運動

### 赤い羽根共同募金運動

事業名	<b>東京都共同募金会 日野地区協力会（募金業務）</b>		
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）		
財源内訳	地区協力会事務費		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	東京都共同募金会日野地区協力会事務局として、日野地区における赤い羽根共同募金運動の普及・啓発に努め、社会福祉施設が行う事業の助成金として活用し、東京都ならびに日野市の社会福祉事業の推進を図る。		
内容	<b>1. 多様な方法による募金の普及・拡大</b>		
実績報告	東京都共同募金会日野地区協力会として、日野地区における赤い羽根共同募金運動（10/1～12/27）を展開し、市民へ協力を呼びかけた。		
	1) 募金実績		
		募金額	内訳
	6年度	1,931,071円	地区募金 936,315円 街頭募金 568,126円 自動販売機 426,630円
	5年度	1,849,025円	地区募金 814,517円 街頭募金 619,931円 自動販売機 414,577円
	2) 街頭募金活動（順不同）		
	①実施期間 10/1（日）から11/30（木）まで 8日間		
	②実施場所 豊田駅・日野駅・高幡不動駅・多摩動物公園 イオンモール多摩平の森・万願寺グラウンド 産業まつり会場		
	③募金活動ボランティア（団体5団体/個人） 日野市赤十字奉仕団・日本ボーイスカウト東京連盟日野第4団 日野市少年軟式野球連盟・リトルリーグ東京連盟日野リトル 10代と社会をつなぐプロジェクト・森悠人・赤羽美幸・有志		

	3) 関係部署窓口において募金受付 日野市福祉政策課、七生支所
内 容	<b>2. 広報啓発活動</b>
実績報告	日野市内全自治会に対し、今年度の協力をお願いした。
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭募金活動が雨天で1回中止となってしまった分、街頭募金額が期待より少なくなりました。</li> <li>・個人から多額の地区募金があったため、募金額合計では昨年度を上回った。</li> </ul>

事業名	<b>東京都共同募金会 日野地区配分推せん委員会（配分業務）</b>
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）
財源内訳	地区配分推せん委員会事務費
担当係	総務係
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ
目 的	東京都共同募金会日野地区配分推せん委員会事務局として、日野市内における社会福祉施設からの「助成金の受付」ならび「申請内容の審査・検討」を行い、東京都共同募金会へ推せん・意見書の交付を行う。
内 容	<b>1. 委員の改選</b>
実績報告	<p>前委員の任期満了に伴い、地区配分推せん委員会規程及び日野地区配分推せん委員会会則に則り委員の改選を行った。</p> <p>1) 委員の氏人及び所属（順不同）</p> <p>委員長 平田康代 氏（日野市ボランティア・センター）</p> <p>副委員長 平恵美子 氏（日野市赤十字奉仕団）</p> <p>小嶋保代 氏（日野市社会福祉協議会理事）</p> <p>松本有右 氏（日野市社会福祉協議会理事）</p> <p>町田寛明 氏（東京日野リトルリーグ）<sup>〆</sup></p> <p>益田英明 氏（日野市民生委員・児童委員協議会）</p> <p>岩谷健治 氏（社会福祉法人東京緑新会）</p> <p>畑野理美 氏（明星大学ボランティアセンター）</p> <p>落合恵子 氏（日野市地域包括支援センターすてっぷ）<sup>〆</sup></p> <p>中村由加里 氏（日野市健康福祉部障害福祉課）<sup>〆</sup></p> <p>2) 委員の任期 令和6年6月1日から令和9年5月31日まで</p>
内 容	<b>2. 審査・推せん（意見書の交付・推せん）及び配分</b>
実績報告	<p>1) 委員会の開催（3回）</p> <p>2) 意見書の交付（1団体） 施設の見学及び施設長からの聴き取りを行った上で作成し、交付した。</p> <p>3) 施設見学会（2施設）</p> <p>4) 推せん 15団体・施設 1,200,000円 事業所を訪問したり、追加の申請説明を求めながら審議を行った。</p> <p>順位を付け東京都共同募金会へ推せんした。</p>

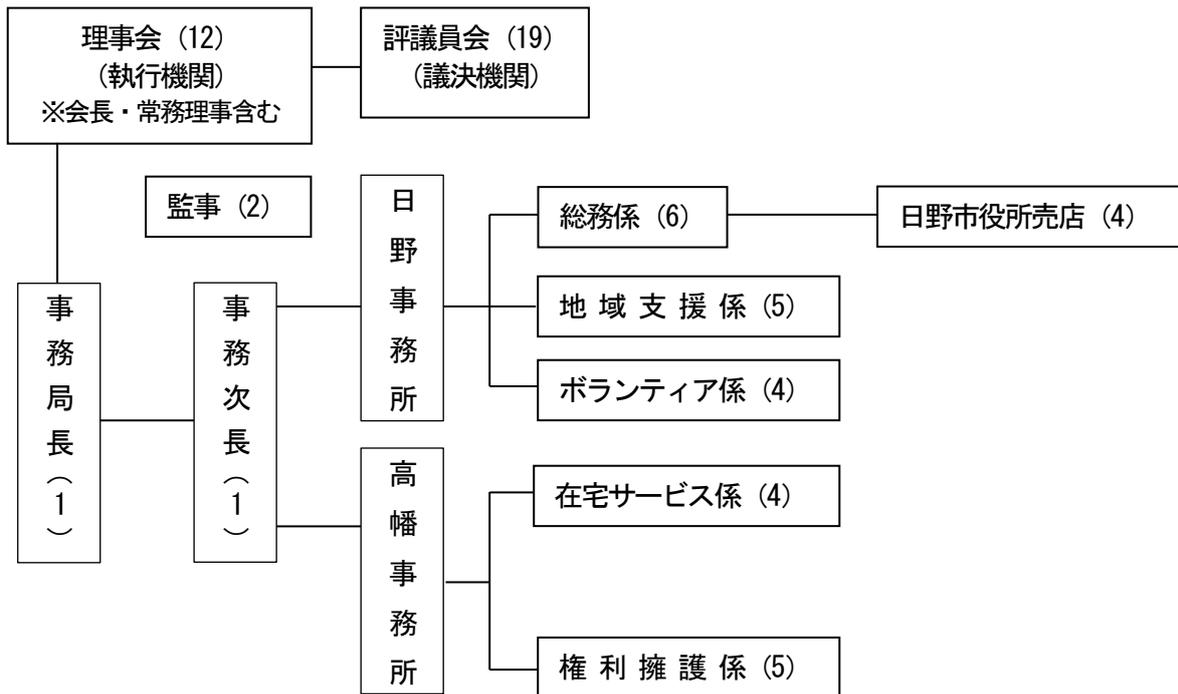
事業効果・評価 方向性等	・委員会の中で、コロナ禍以降中止していた施設見学会を再開したいという声が委員よりあったため、12月に2施設の見学を実施した。
-----------------	--

## 歳末たすけあい運動

事業名	<b>歳末たすけあい運動の実施</b>														
事業形態	歳末たすけあい運動（共同募金運動）														
財源内訳	歳末たすけあい配分金、事務費														
担当係	総務係														
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ														
目的	日野地区における歳末たすけあい運動の実施主体（主催：東京都共同募金会・主唱：東京都社会福祉協議会）として、運動の普及・啓発に努め、日野市の地域福祉の推進を図る。														
内容	<b>1. 歳末たすけあい運動の普及・拡大</b>														
実績報告	共同募金運動の一つとして、東京都共同募金会の主催のもと、日野地区における『歳末たすけあい運動』を展開した。														
	1) 運動期間 12/1～12/28														
	2) 募金実績														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>募金額</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">6年度</td> <td rowspan="3">2,784,451円</td> <td>戸別募金 1,708,897円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金 0円</td> </tr> <tr> <td>バザー募金 1,075,554円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5年度</td> <td rowspan="3">2,739,274円</td> <td>戸別募金 1,757,736円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金 0円</td> </tr> <tr> <td>バザー募金 981,538円</td> </tr> </tbody> </table>		募金額	内訳	6年度	2,784,451円	戸別募金 1,708,897円	街頭募金 0円	バザー募金 1,075,554円	5年度	2,739,274円	戸別募金 1,757,736円	街頭募金 0円	バザー募金 981,538円
	募金額	内訳													
6年度	2,784,451円	戸別募金 1,708,897円													
		街頭募金 0円													
		バザー募金 1,075,554円													
5年度	2,739,274円	戸別募金 1,757,736円													
		街頭募金 0円													
		バザー募金 981,538円													
内容	<b>2. 歳末たすけあいバザー</b>														
実績報告	1) バザー担当者会議 日野市民生委員・児童委員協議会、日野市赤十字奉仕団のバザー担当者 と、今年度のバザーの開催企画や振り返りなどについて協議した。（3回）														
	2) バザー 【日時】12/1（日）10時～14時 【共催】日野市民生委員・児童委員協議会、日野市赤十字奉仕団 【協力】特非）めぐみ、社福）東京光の家、特非）あいあむ、 手芸サークルはなみずき、日野市手をつなぐ親の会、中央大学中村 亨ゼミ 【協賛】サントリービバレッジソリューション(株)、西都ヤクルト販売(株) (株)伊藤園、東京キリンビバレッジサービス(株)、(株)アペックス アサヒ飲料販売(株)、森永牛乳日野販売店、バスターフラッシュ														
事業効果・評価 方向性等	・歳末たすけあいバザーは、例年、日野市が開催する障害者週間イベント と日程が重ならないよう、12月3日～12月9日の障害者週間内での開催を 避けてきたが、今年度は障害者週間イベントが会場の都合で週間外の開催 となり、同日開催になってしまった。来年度以降は、日野市障害福祉課と														

	<p>連絡を取り合うこととした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの障害福祉関係団体が出店できなかった中、バザー品販売方法の工夫や歳末たすけあい募金付加商品の開発などを行い、売上が昨年度を上回ったことで戸別募金の減少額を埋めて、合計募金額は昨年度を上回った。</li> <li>・街頭募金活動は小中学生による活動を想定していたが、希望がなかった。</li> <li>・令和7年度は事務所移転を踏まえた開催方法で企画実施していくことをバザー担当者会議で共有した。</li> </ul>
--	---

**日野市社会福祉協議会組織図** ※（ ）内は人数。



職員人数 30人 (令和7年3月31日現在)